



**ユニプレス株式会社**  
**2021年度第2四半期決算報告**





2021年度第2四半期決算について

2021年度見通しについて

中期経営方針

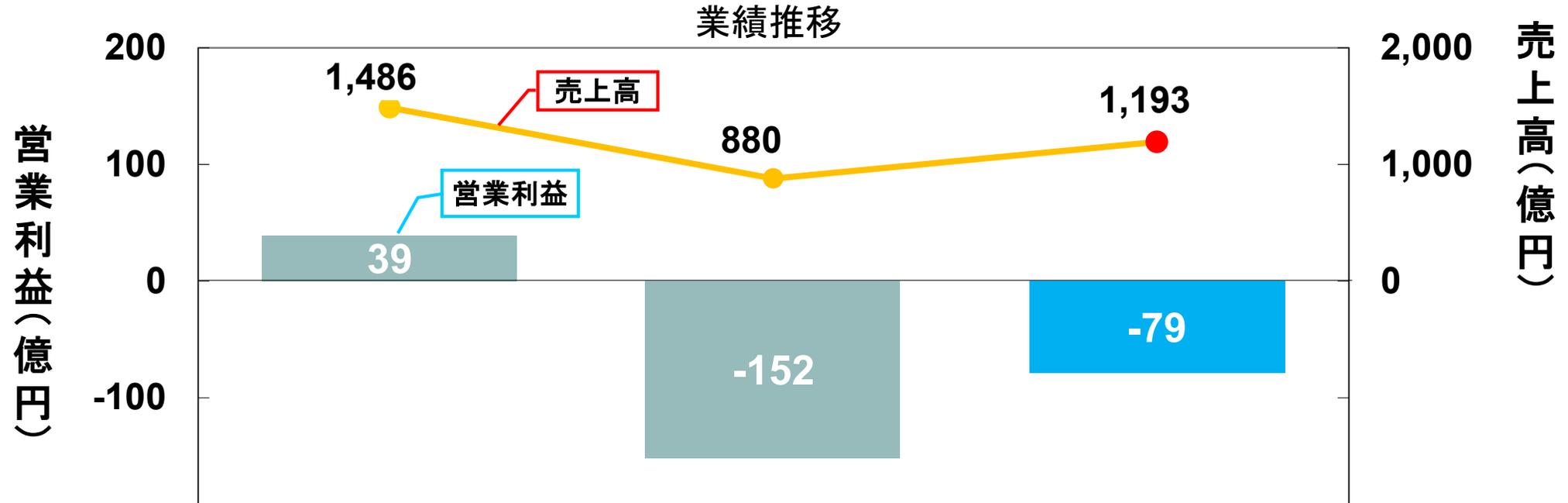


## 2021年度第2四半期決算について

為替換算影響や新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響からは脱しつつあるが、半導体の世界的な供給不足による得意先の大幅な減産の影響により、前年同期より改善したものの、売上高は1,193億円にとどまり、営業利益は79億円の損失

# 2021年度第2四半期連結決算サマリー

- 売上高は、前年同期比313億円増収（35.6%増）
- 営業利益は、前年同期比73億円の改善



	19年度 第2四半期	20年度 第2四半期 (A)	21年度 第2四半期 (B)	(B) - (A)
売上高	1,486	880	1,193	+313
営業利益	39	-152	-79	+73
経常利益	37	-148	-72	+76
親会社株主に帰属 する四半期純利益	13	-137	-77	+60

# 製品群別連結売上構成

(億円)

	2020年度第2四半期		2021年度第2四半期		売上高 増減額	構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比		
車体プレス製品	734	83.4%	1,006	84.3%	+272	+0.9%
トランスミッション製品	120	13.6%	163	13.7%	+43	+0.1%
樹脂製品	11	1.3%	14	1.2%	+3	-0.1%
その他	15	1.7%	10	0.8%	-5	-0.9%
合計	880	100%	1,193	100%	+313	—

# 得意先別連結売上構成(日産自動車関連)

- 北米日産および欧州日産向けの売上増等により、構成比は0.4%増加

	2020年度第2四半期		2021年度第2四半期		構成比 増減	(億円)
	売上高	構成比	売上高	構成比		
<b>日産自動車関連 小計</b>	<b>702</b>	<b>79.8%</b>	<b>957</b>	<b>80.2%</b>	<b>+0.4%</b>	
東風汽車	175	19.9%	238	19.9%	0.0%	
北米日産	91	10.3%	150	12.6%	+2.3%	
ジャトコ(海外拠点含む)	89	10.1%	126	10.6%	+0.5%	
メキシコ日産自動車	84	9.5%	120	10.1%	+0.6%	
欧州日産自動車	38	4.3%	117	9.8%	+5.5%	
日産自動車	139	15.8%	112	9.4%	-6.4%	
日産車体	30	3.4%	40	3.4%	0.0%	
ルノー日産インドア	5	0.6%	17	1.4%	+0.8%	
タイ日産自動車	30	3.4%	16	1.3%	-2.1%	
マレリ(海外拠点含む)	16	1.8%	14	1.2%	-0.6%	
鄭州日産	1	0.1%	1	0.1%	0.0%	
インドネシア日産	0.1	0.0%	0	0.0%	0.0%	

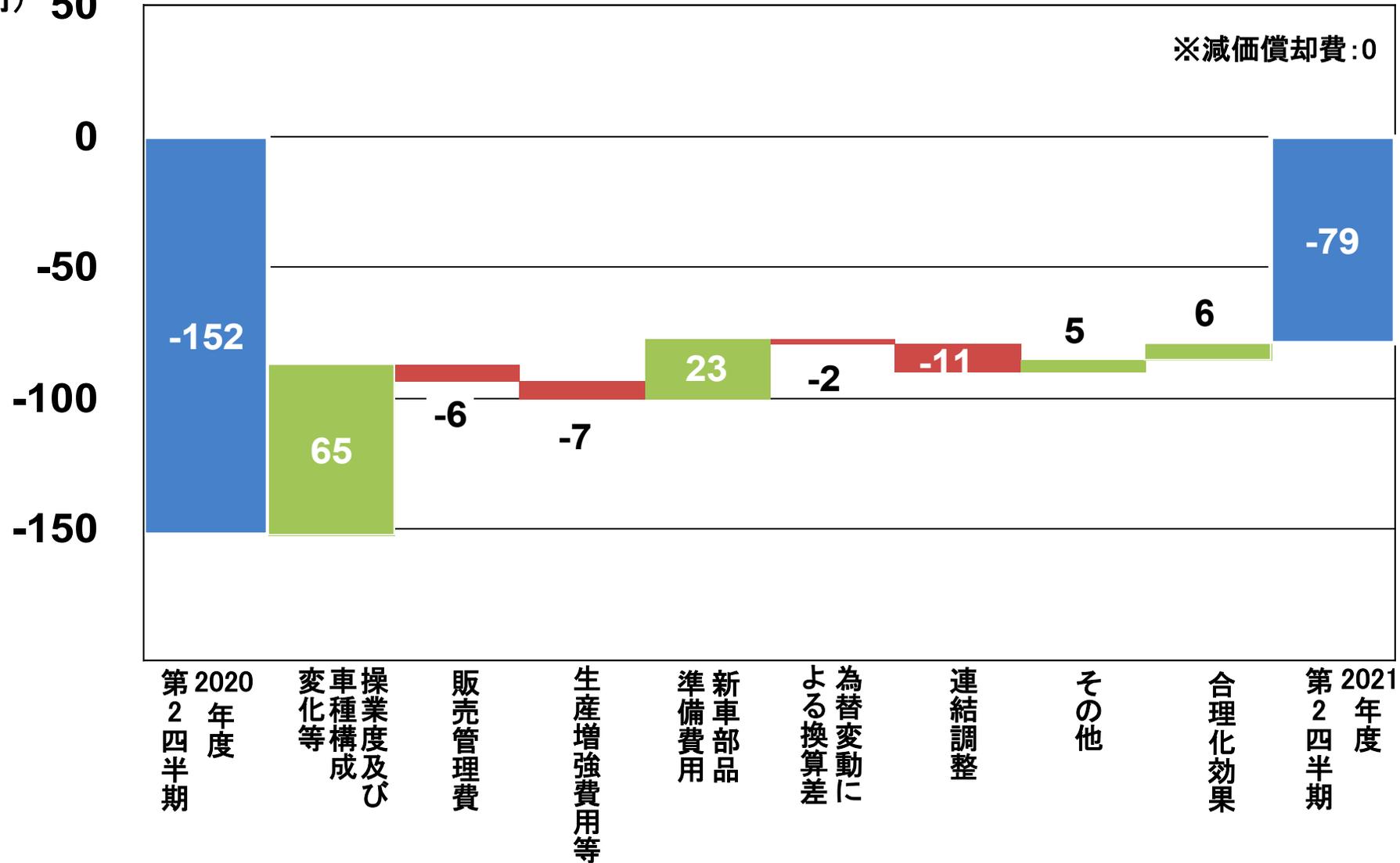
# 得意先別連結売上構成(日産自動車関連以外)

- ルノー向け売上の減少等により、構成比は0.4%減少

		2020度第2四半期		2021度第2四半期		構成比 増減 (億円)
		売上高	構成比	売上高	構成比	
<b>日産自動車関連以外の得意先 小計</b>		<b>178</b>	<b>20.2%</b>	<b>236</b>	<b>19.8%</b>	<b>-0.4%</b>
内)ホンダ	米国ホンダ	22.3	2.5%	22.9	1.9%	-0.6%
	英国ホンダ	8.8	1.0%	16.8	1.4%	+0.4%
	メキシコホンダ	7.8	0.9%	11.6	1.0%	+0.1%
	本田技研工業	10.5	1.2%	9.1	0.8%	-0.4%
	インドネシアホンダ	2.7	0.3%	4.2	0.4%	+0.1%
三菱自動車工業(海外拠点含む)		1.3	0.1%	25.0	2.1%	+2.0%
PSA		14.2	1.6%	23.7	2.0%	+0.4%
ルノー		19.5	2.2%	14.2	1.2%	-1.0%
アイシン(海外拠点含む)		14.4	1.6%	14.0	1.2%	-0.4%
マツダ	マツダ	7.9	0.9%	8.2	0.7%	-0.2%
	メキシコマツダ	2.2	0.3%	3.3	0.3%	0.0%
ダイナックス(海外拠点含む)		5.2	0.6%	8.6	0.7%	+0.1%
SUBARU		4.3	0.5%	4.2	0.4%	-0.1%
NSKワーナー		1.9	0.2%	2.3	0.2%	0.0%
ダイハツ工業		1.4	0.2%	1.8	0.2%	0.0%
スズキ(海外拠点含む)		1.3	0.1%	1.7	0.1%	0.0%
いすゞ自動車(海外拠点含む)		0.7	0.1%	1.3	0.1%	0.0%
武蔵精密工業		1.0	0.1%	1.2	0.1%	0.0%
UDトラックス		0.9	0.1%	1.1	0.1%	0.0%
日野自動車(海外拠点含む)		1.0	0.1%	0.7	0.1%	0.0%

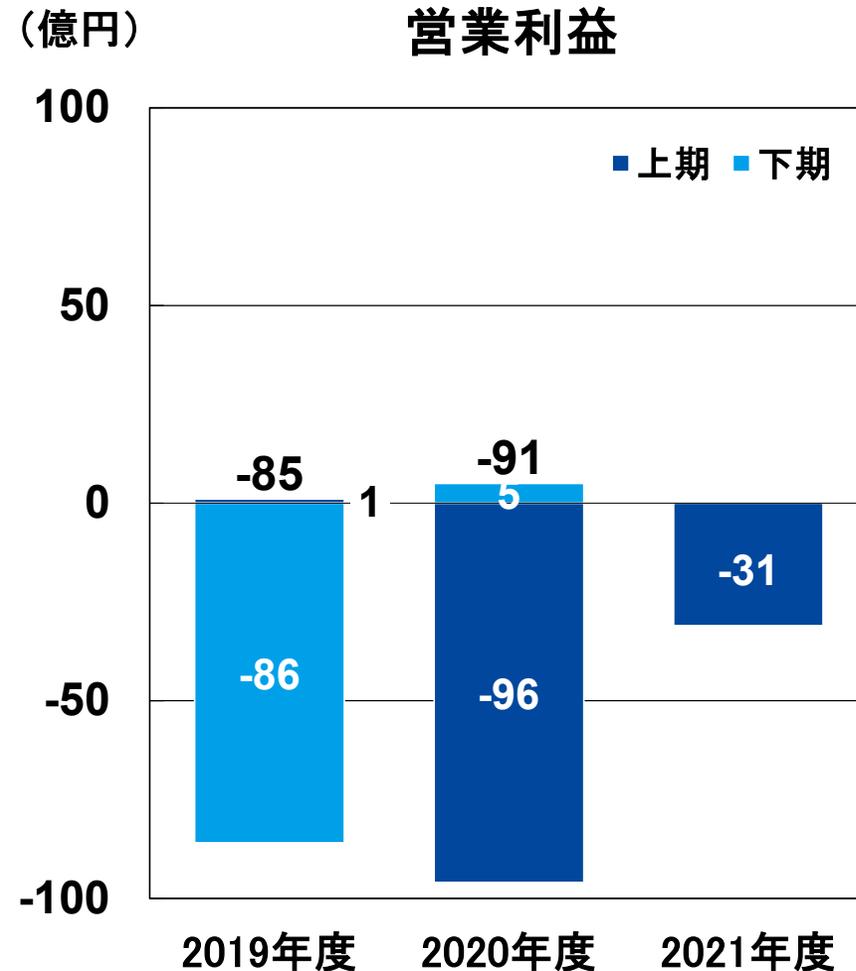
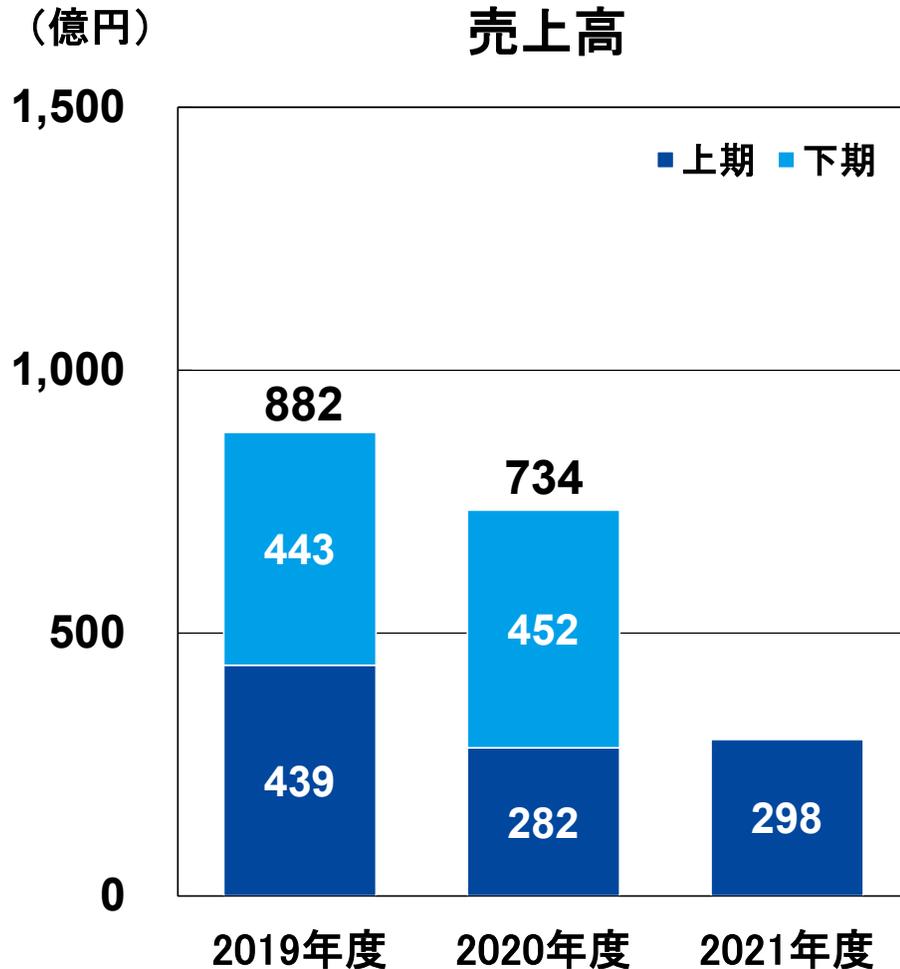
# 営業利益の増減要因

(億円) 50



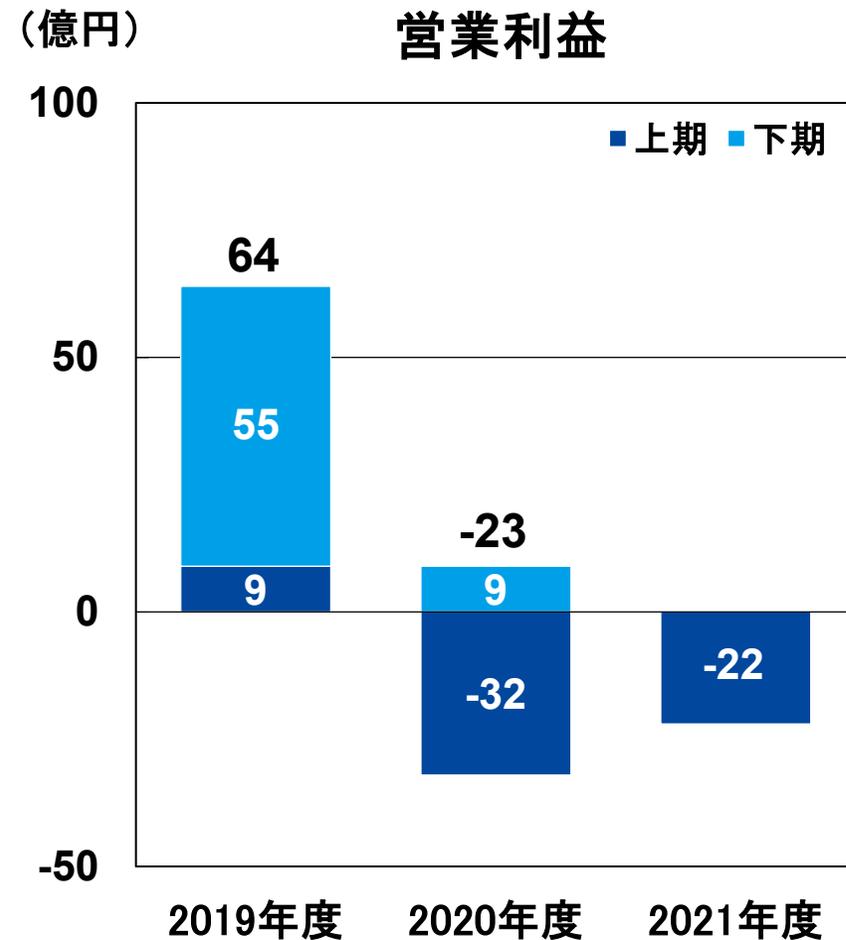
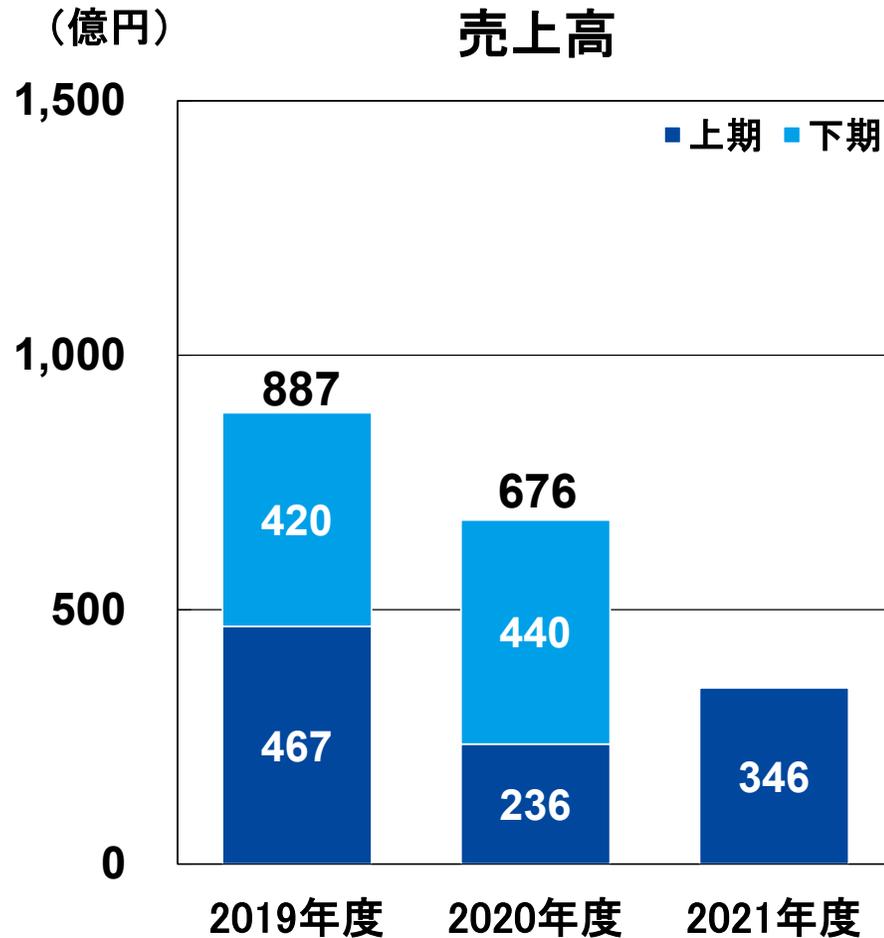
# 地域別売上高・営業利益(日本)

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下にあった前年同期の水準からは回復したものの、半導体の供給不足に伴う得意先の減産影響や金型・設備の減少もあり、5.7%の増収にとどまった
- 営業利益は、65億円の改善



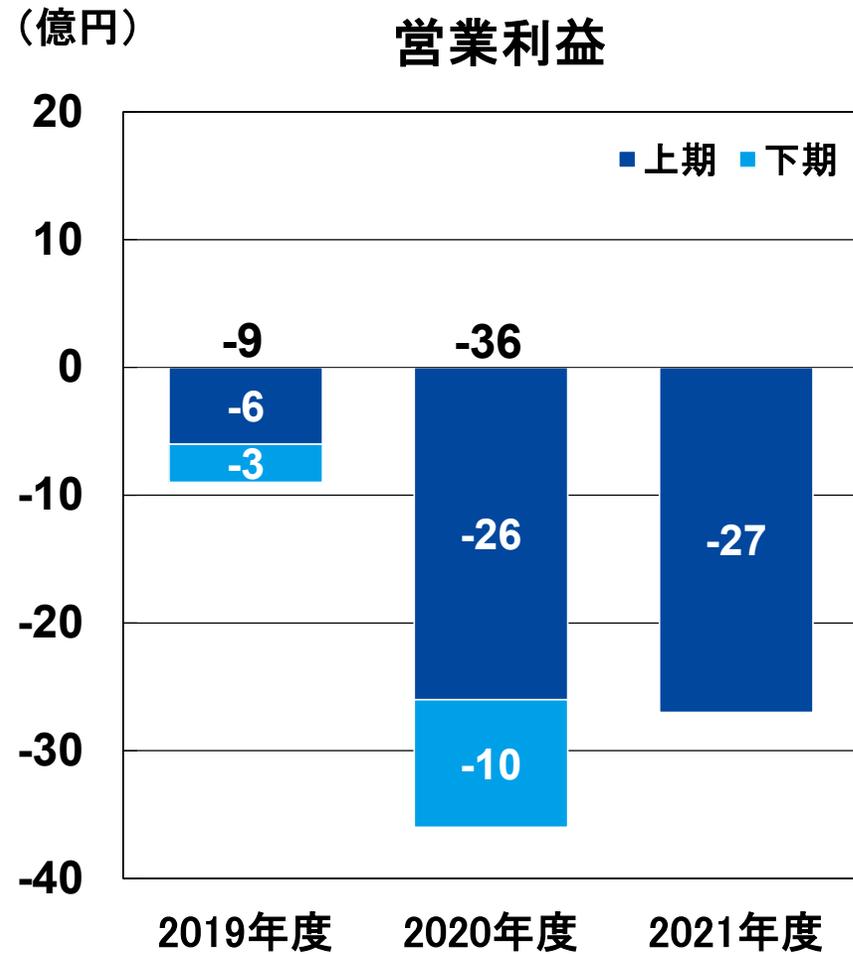
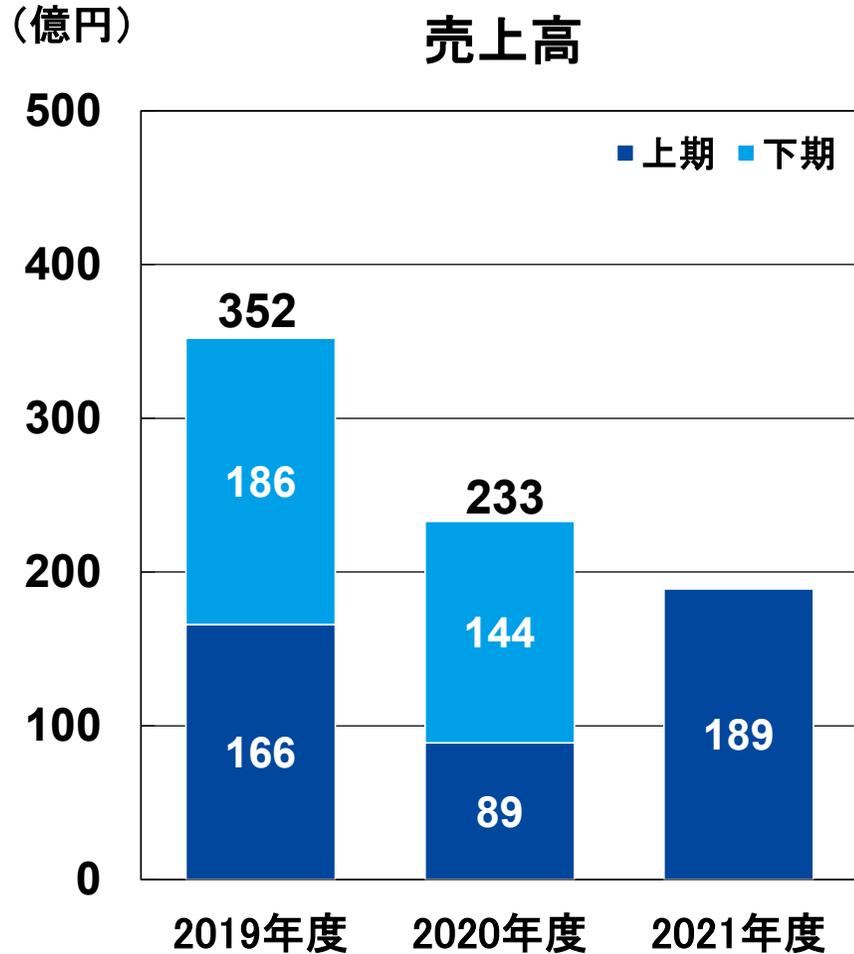
# 地域別売上高・営業利益(米州)

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下にあった前年同期の水準からは回復し、円安による為替換算影響があったものの、半導体の供給不足に伴う得意先の減産影響等により、110億円の増収にとどまった
- 営業利益は、10億円の改善



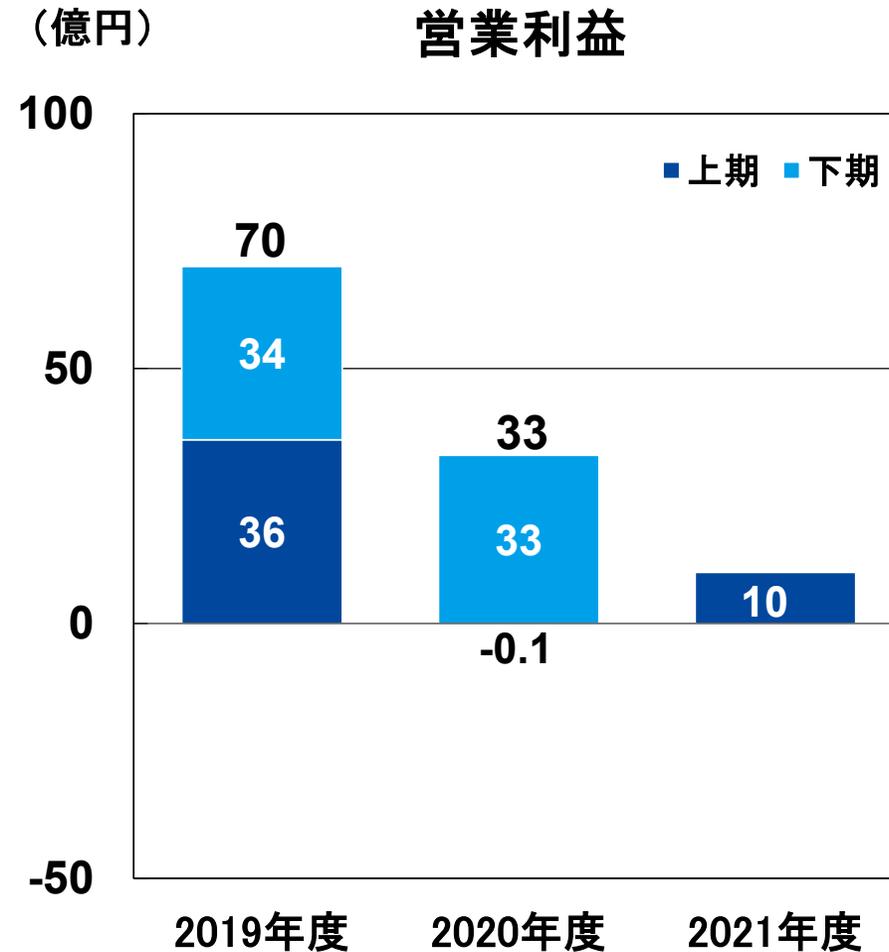
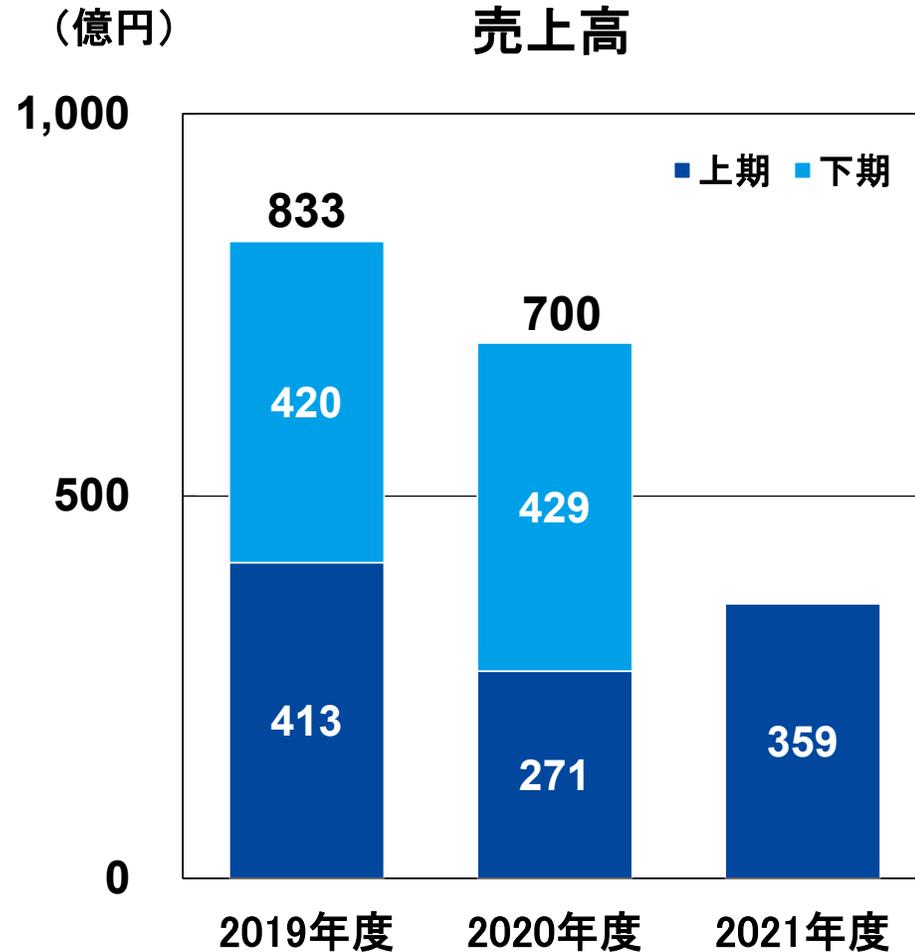
# 地域別売上高・営業利益(欧州)

- 売上高は、欧州経済の低迷により自動車販売市場の回復が遅れているものの、金型・設備の販売に加え円安による為替換算影響により、100億円の増収
- 営業利益は、27億円の損失



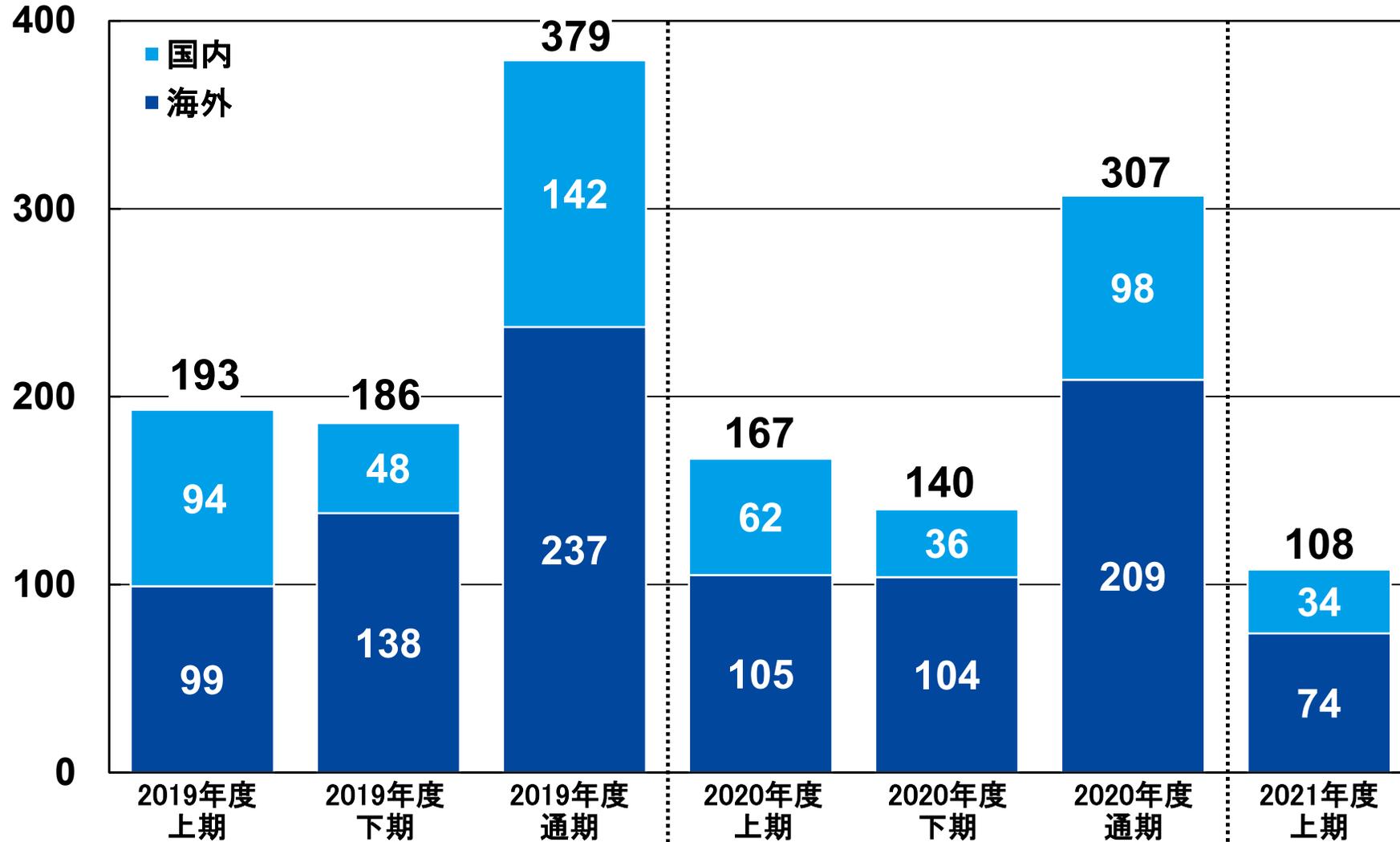
# 地域別売上高・営業利益(アジア)

- 売上高は、中国を中心に円安による為替換算影響が寄与したこと等により、32.5%増収
- 営業利益は、中国新拠点のコスト負担等もあり、10億円の増益にとどまった

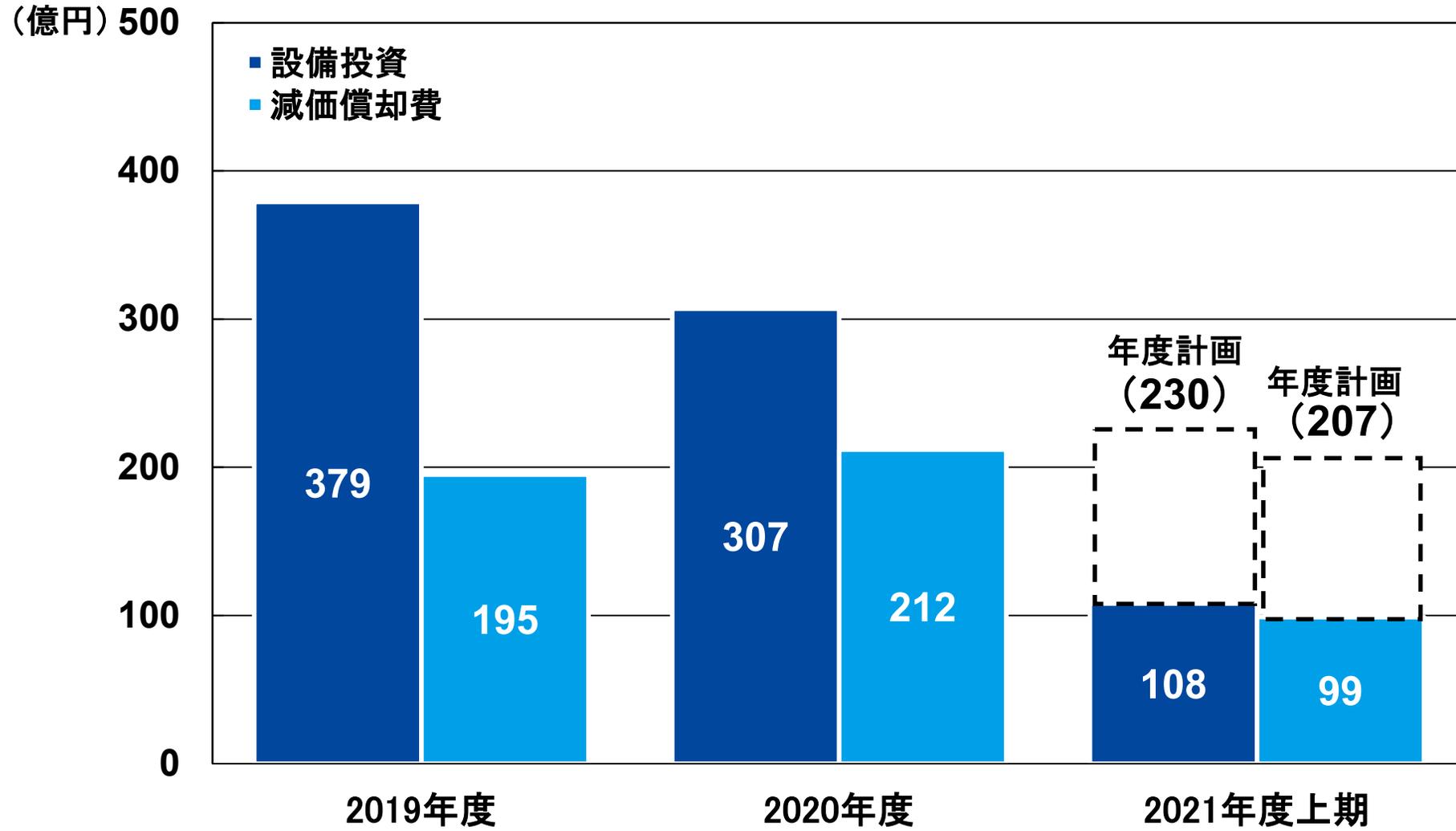


# 設備投資推移

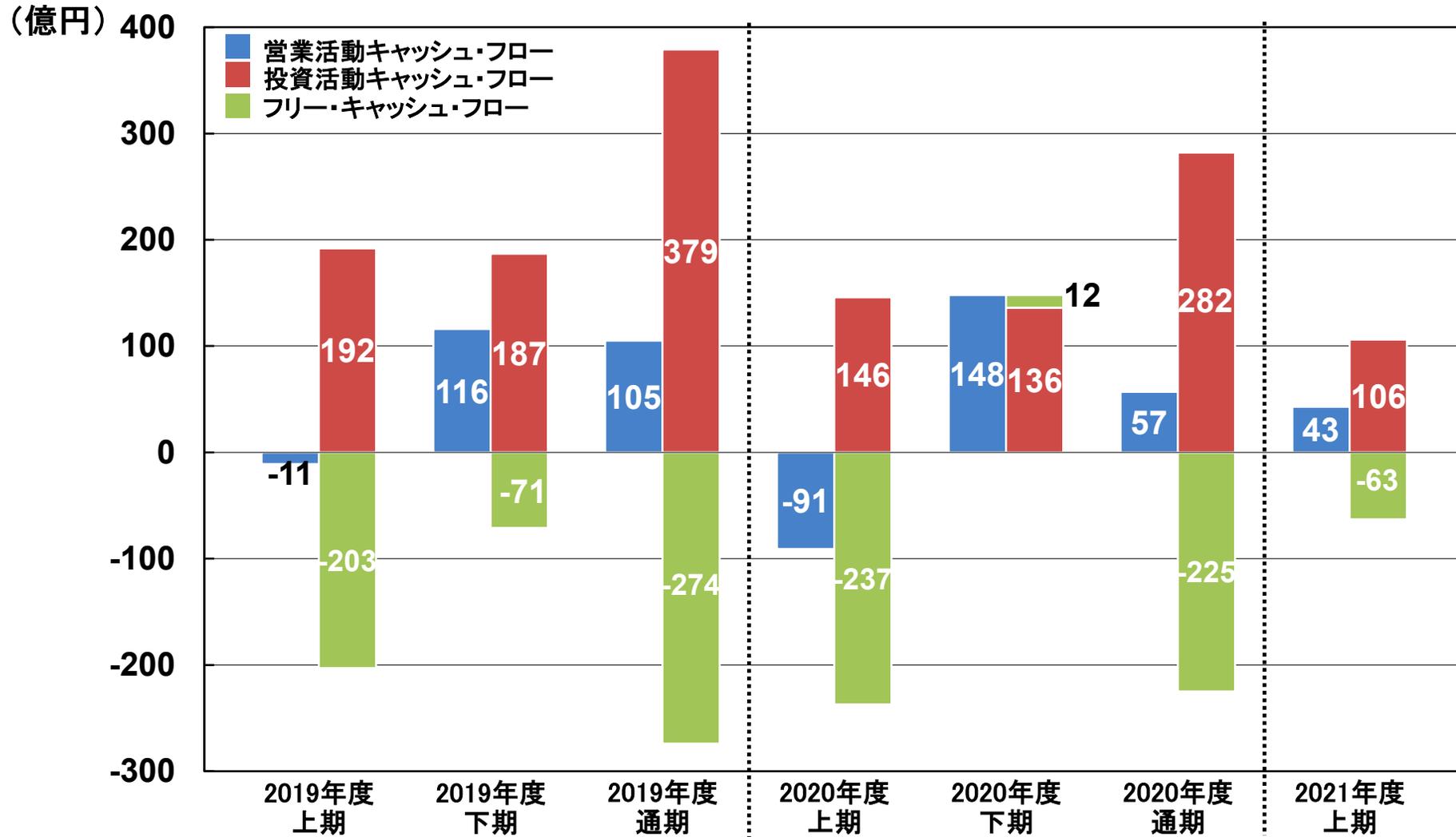
(億円)



# 設備投資・減価償却費推移

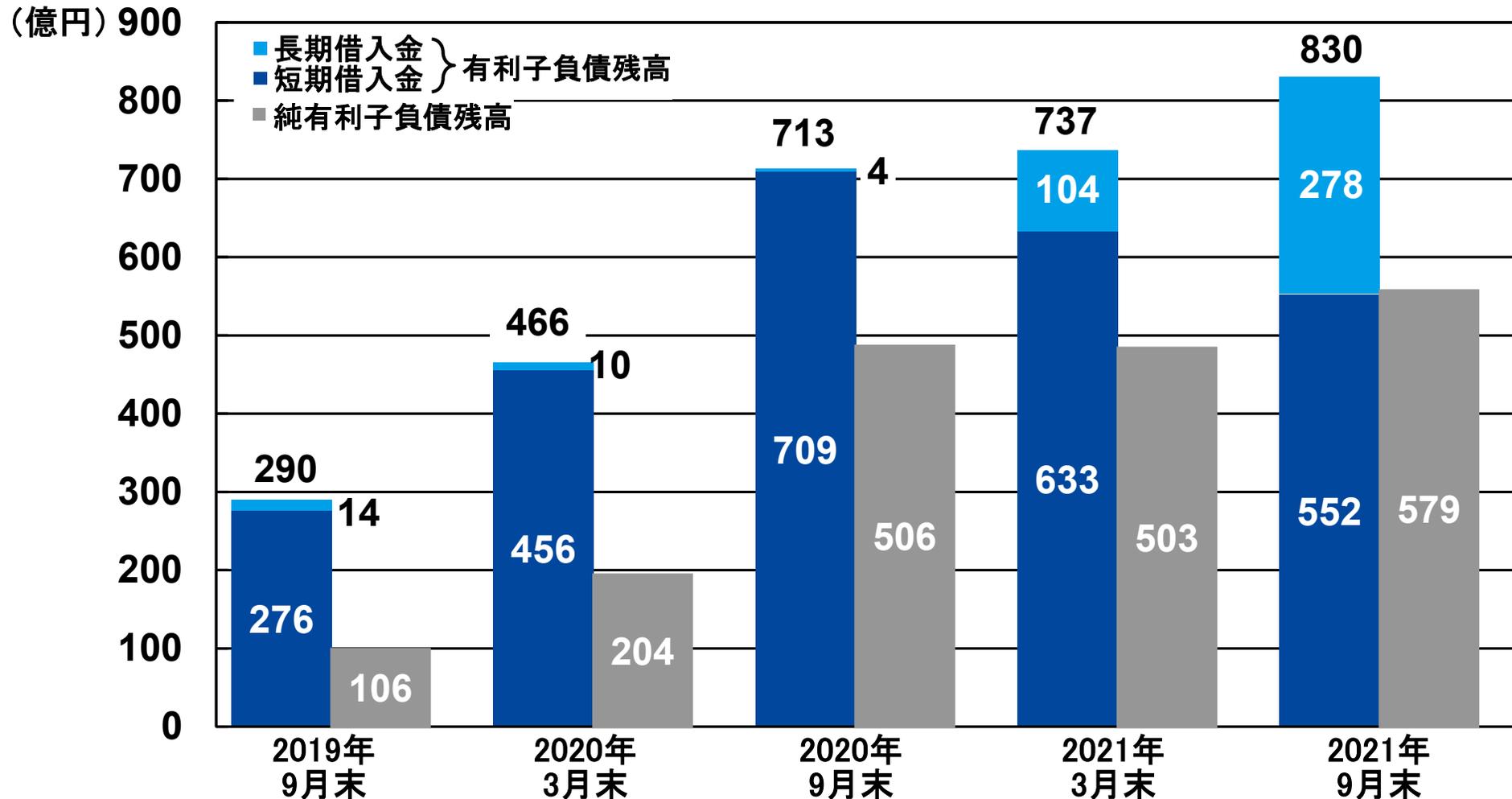


# キャッシュ・フロー



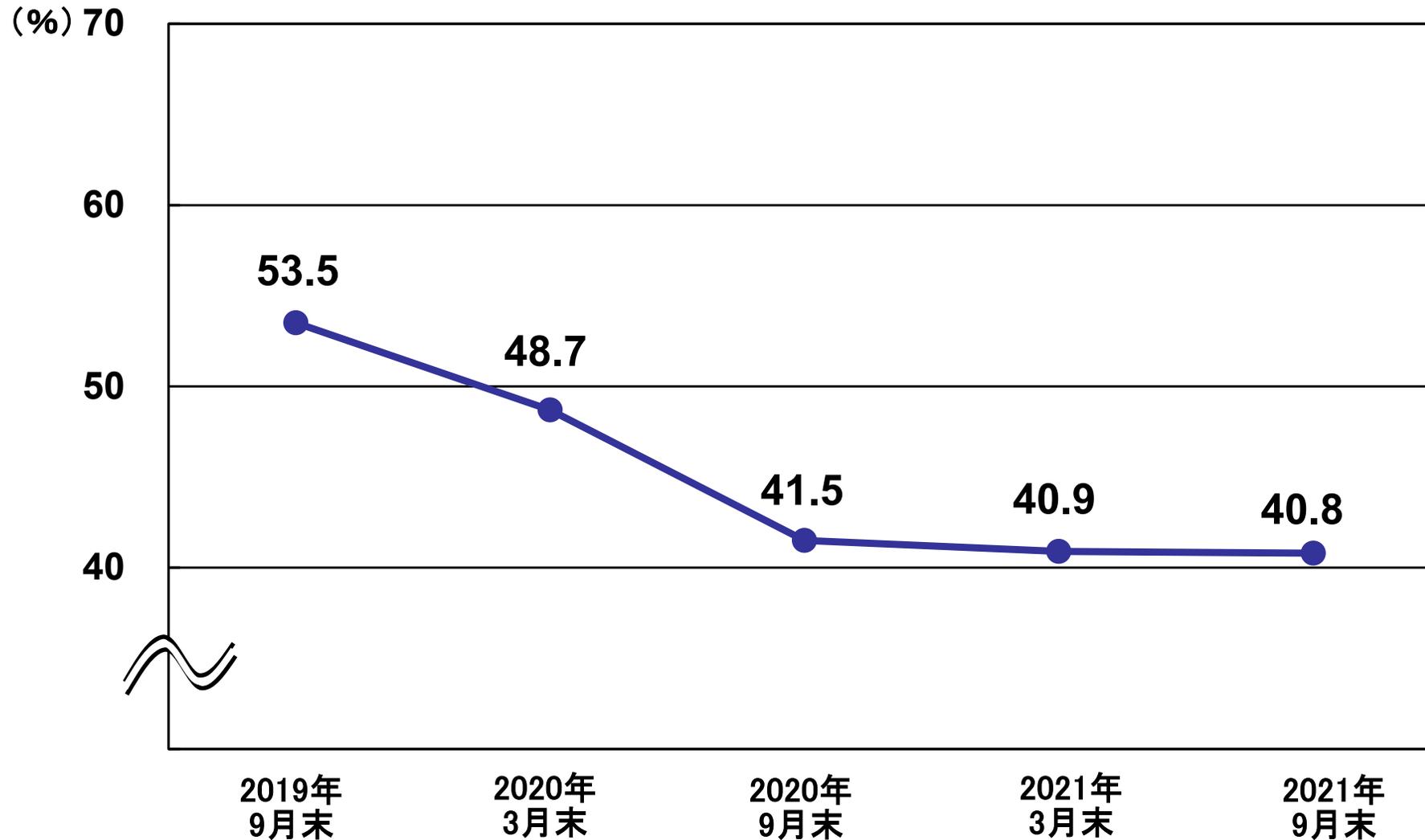
# 有利子負債・純有利子負債残高の推移

- 有利子負債は、前年度末に対して93億円増加
- 現預金を含めた純有利子負債は、579億円



# 自己資本比率の推移

- 前年度末に対し0.1%減の40.8%



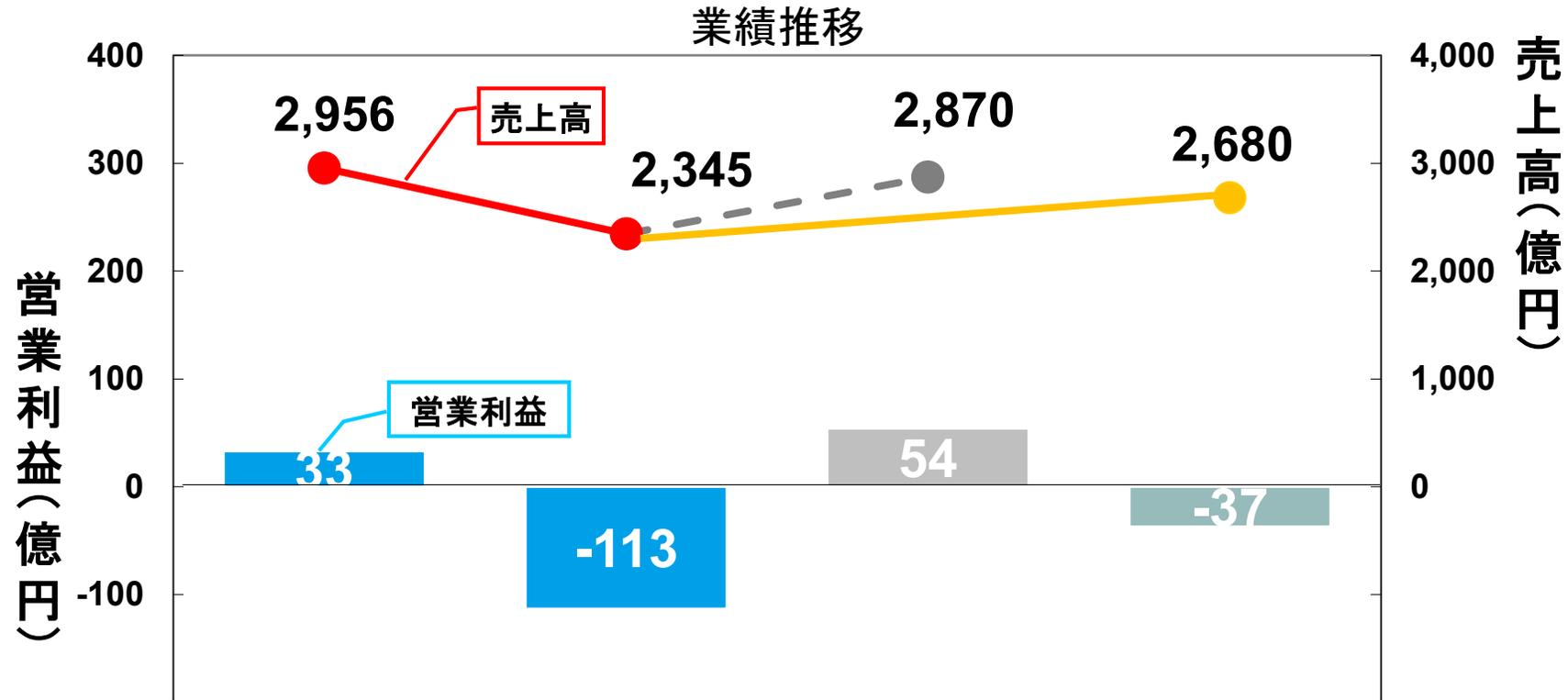


## 2021年度見通しについて

1. 売上高は、新型コロナウイルス感染拡大や足元の半導体不足による得意先の減産影響リスク等はあるものの、得意先の生産、販売の回復影響により増収

2. 営業利益は、売上増の影響により改善

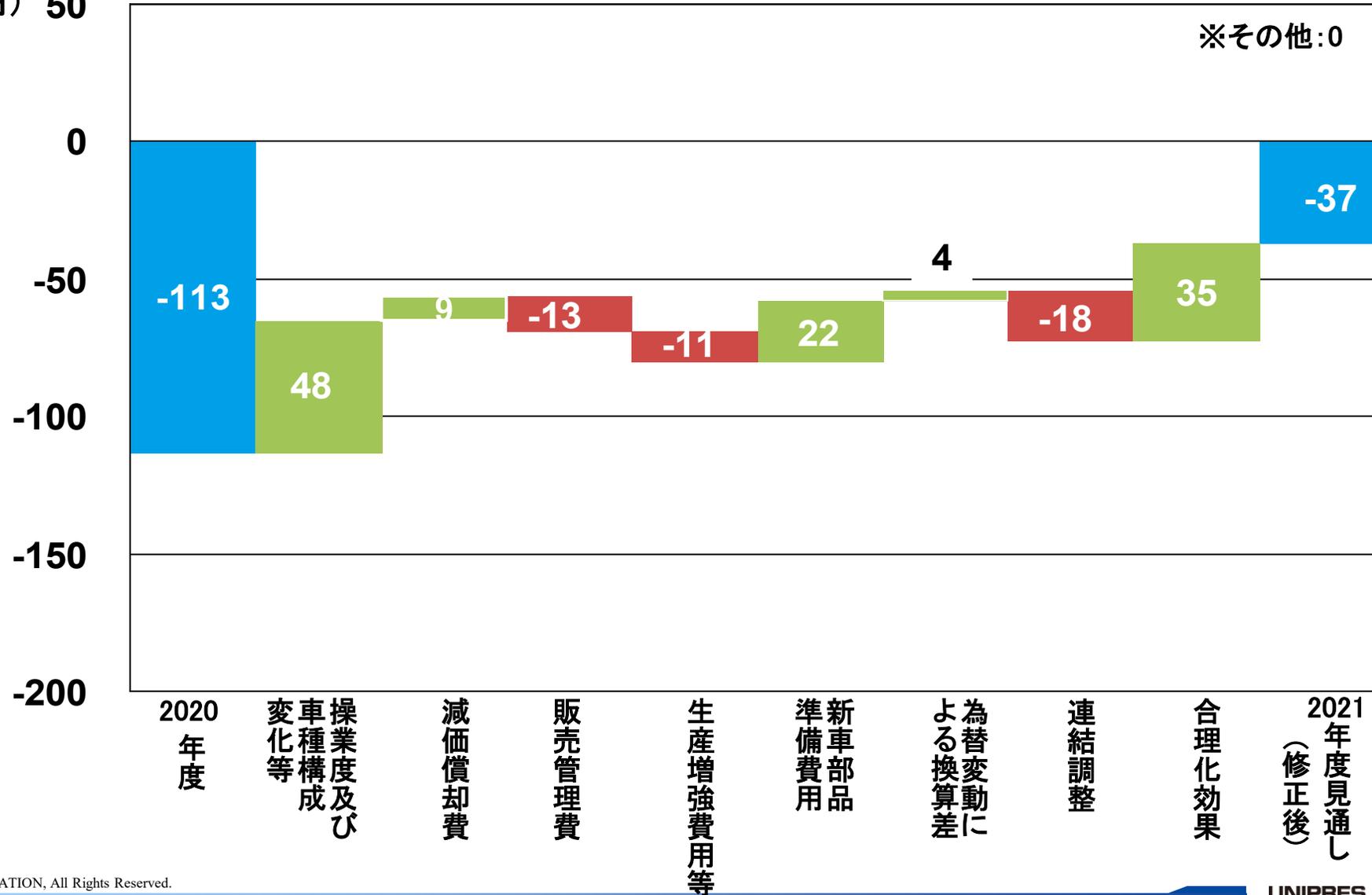
# 2021年度連結業績見通しサマリー



	19年度	20年度(A)	21年度 当初計画	21年度 修正計画(B)	(B)-(A)
売上高	2,956	2,345	2,870	2,680	+335
営業利益	33	-113	54	-37	+76
経常利益	34	-91	41	-24	+67
親会社株主に帰属 する当期純利益	-39	-176	10	-51	+125

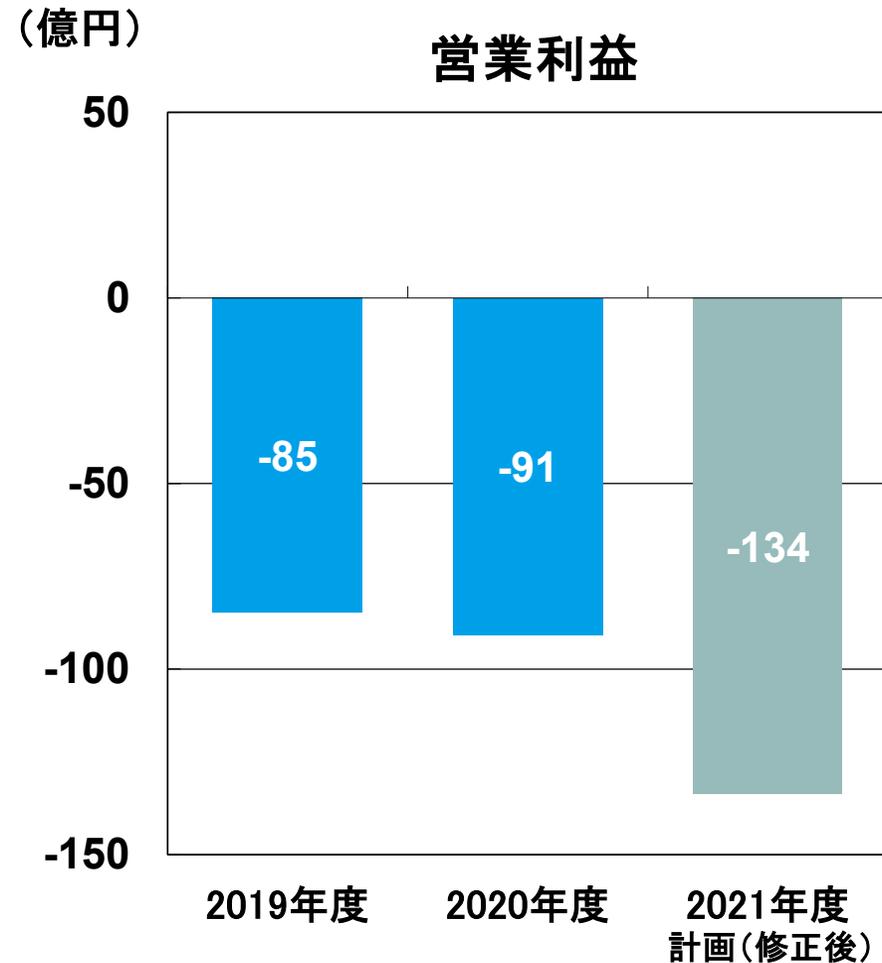
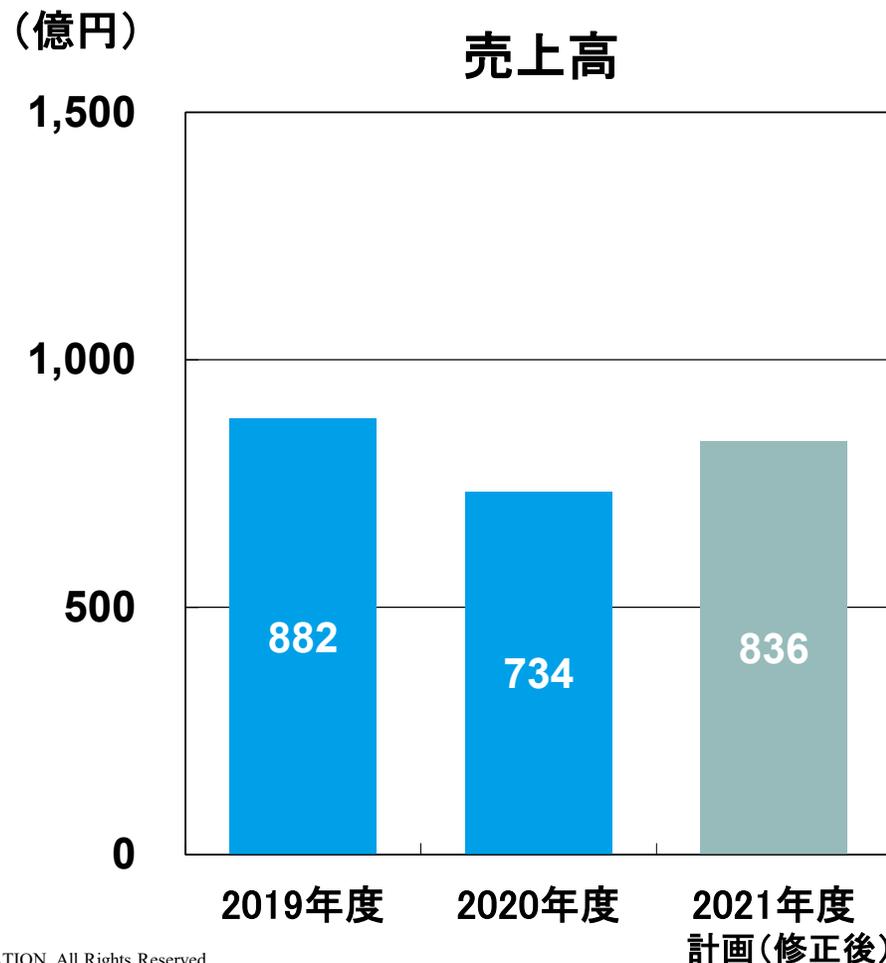
# 営業利益の増減見通し

(億円) 50



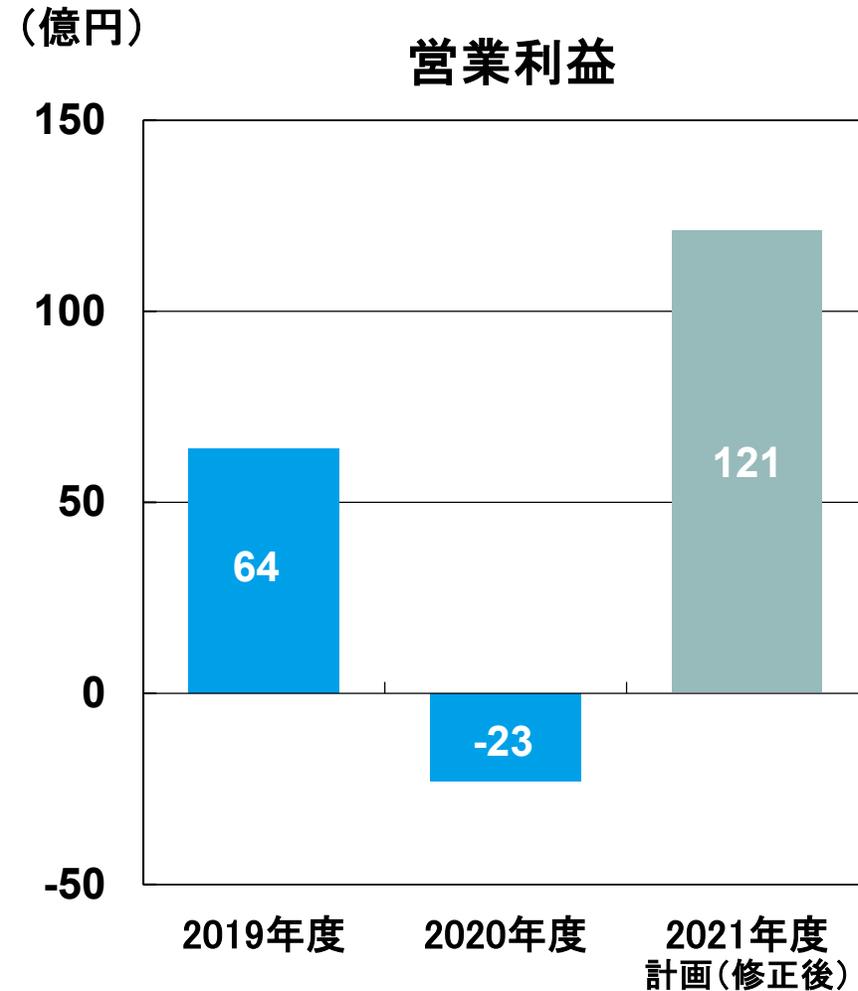
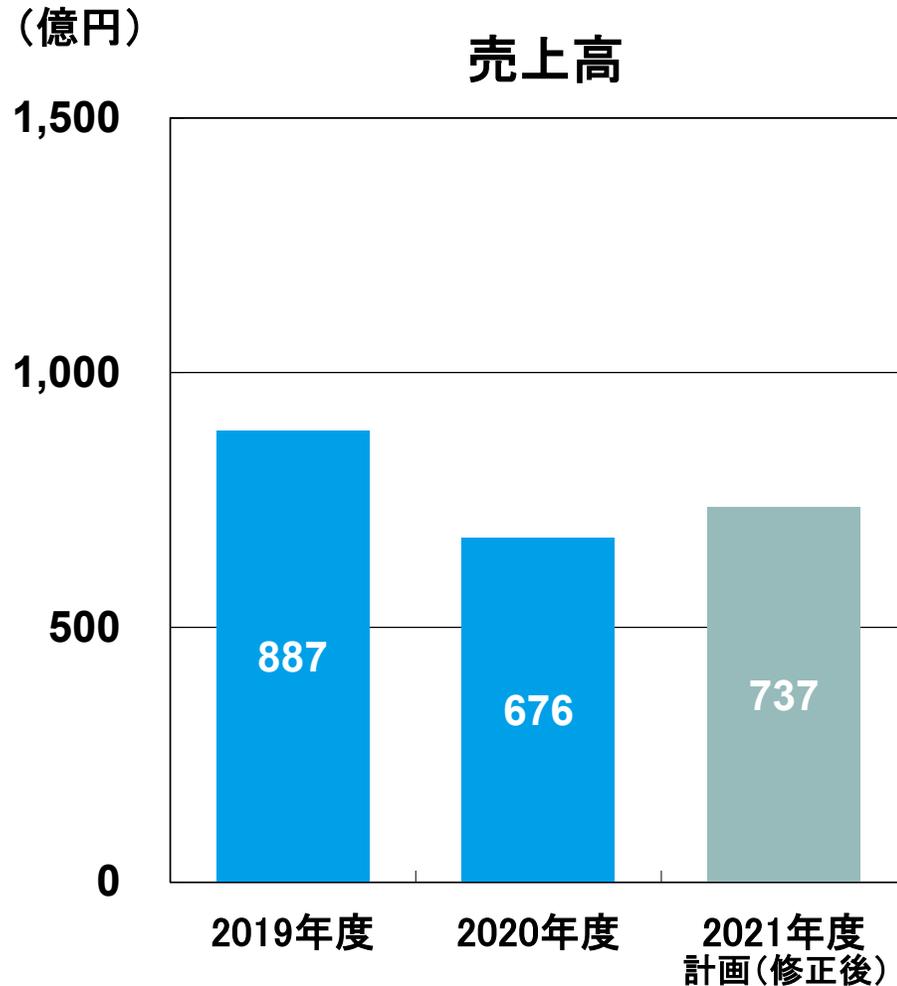
# 地域別売上高・営業利益(日本)

- 売上高は、得意先の増産影響等により増収を計画
- 営業利益は、得意先の増産影響に加え、新車部品立上げ準備費用の削減等はあるものの、移転価格税制調整金の支払いにより、減益を計画



# 地域別売上高・営業利益(米州)

- 売上高は、得意先の増産影響及び為替換算影響等により、増収を計画
- 営業利益は、売上増の影響に加え、移転価格税制調整金の収入により、増益を計画

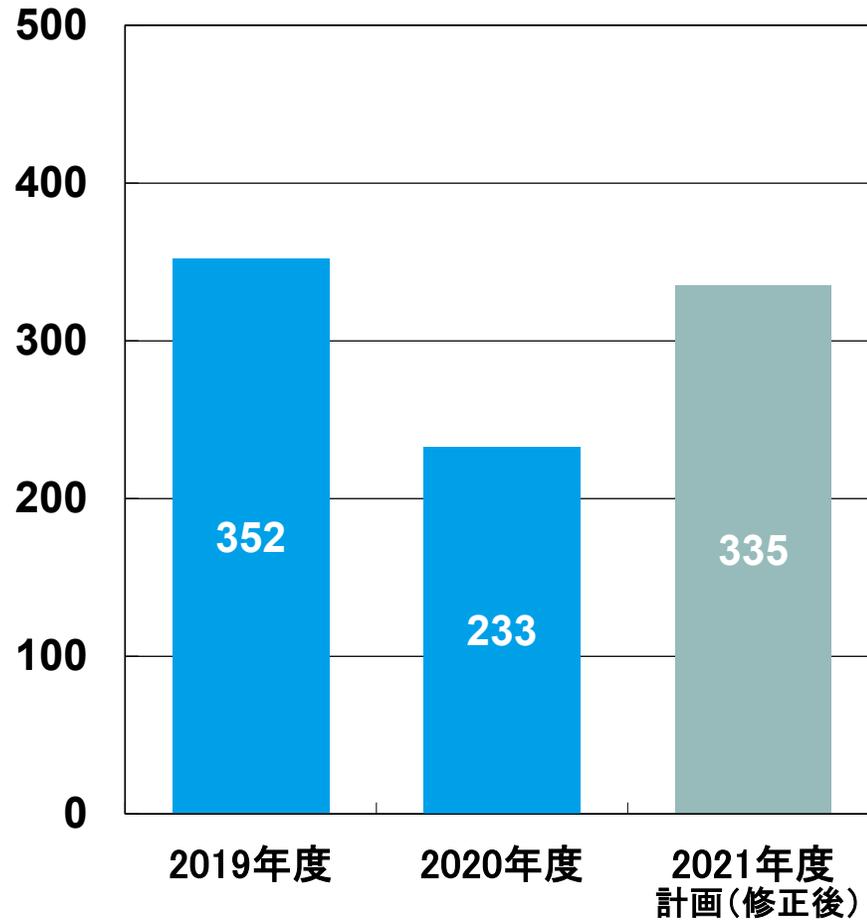


# 地域別売上高・営業利益(欧州)

- 売上高は、プレス用型設備の販売等により、増収を計画
- 営業利益は、得意先の減産影響等により、減益を計画

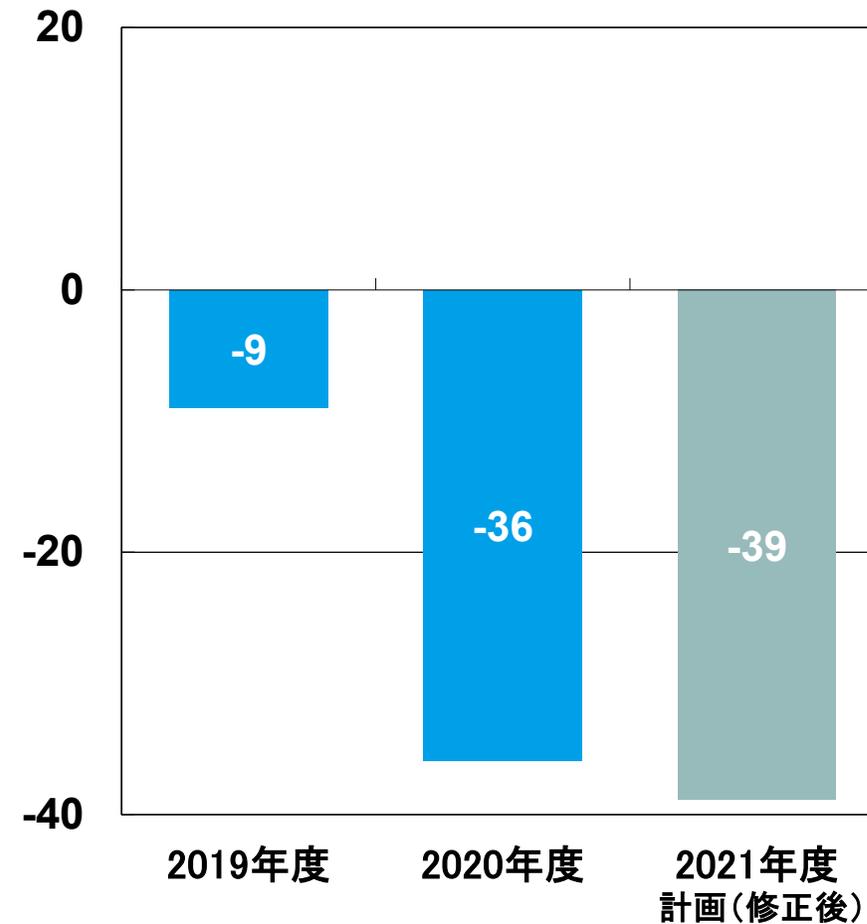
(億円)

売上高



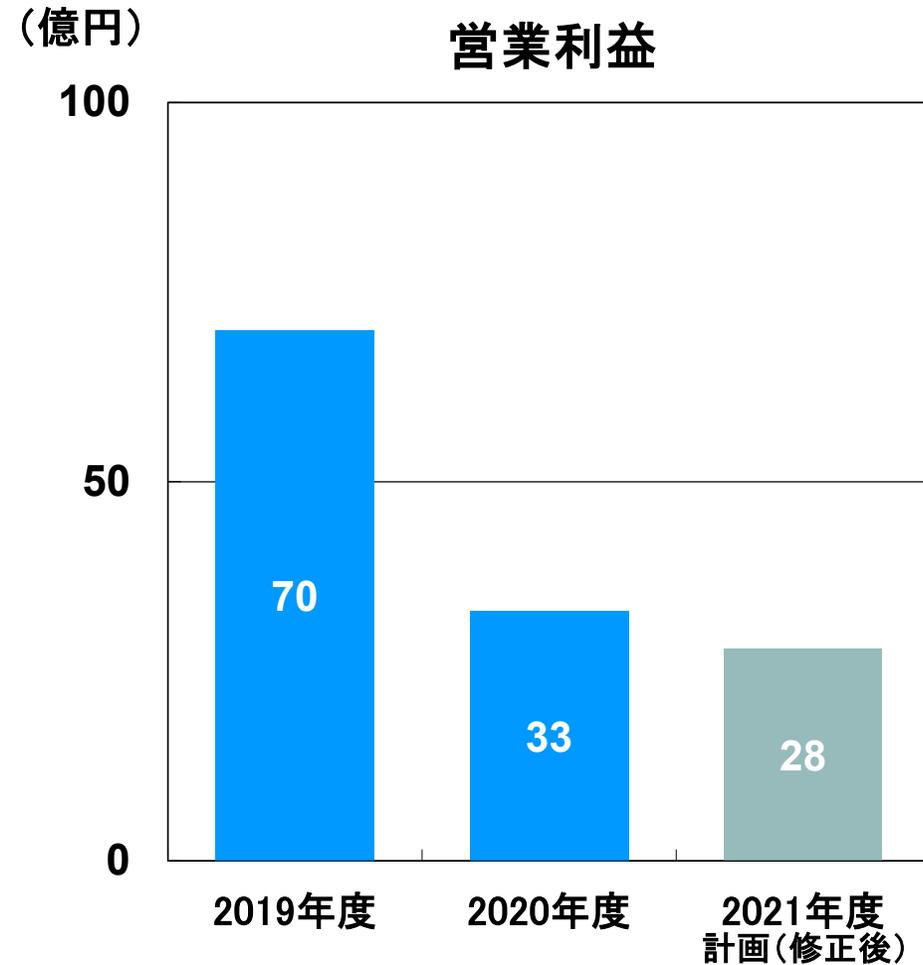
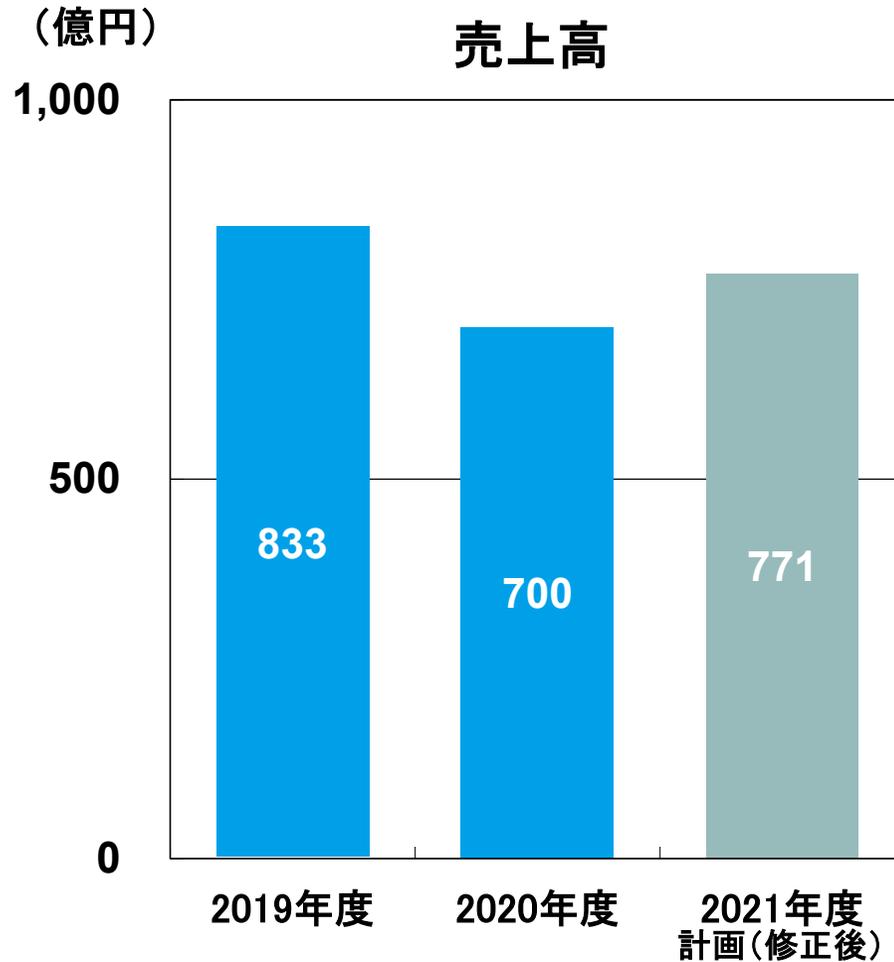
(億円)

営業利益



# 地域別売上高・営業利益(アジア)

- 売上高は、中国を中心とした円安による為替換算影響等により、増収を計画
- 営業利益は、得意先の減産影響に加え、中国新拠点のコスト負担等もあり、減益を計画





## 中期經營方針

## 【経営理念】

### 「プレスを究めて、プレスを越える」

#### ■ 目指すべき企業の姿

1. 市場ニーズを先取りした技術開発型企业
2. 競争力No.1を維持するコスト開発型企业
3. 自動車産業構造変化に対応したグローバル戦略企業

#### ■ 中期経営方針

グローバルNo.1企業をめざし、UPS活動の推進により収益力と競争力を強化する。

## 1. グローバルな生産基盤の活用・強化

### ・ビジネスの拡大

- グローバル拡販（ルノー・三菱・ホンダ・アイシン）
- 自動車産業変革への対応

### ・海外9カ国17の生産拠点

- 生産基盤の更なる強化

## 2. 技術開発の推進

### ・新製品・新技術の開発

- 超ハイテン／ホットスタンプ／アルミ化対応技術
- 電動化対応技術
- 生産技術革新

### ・外部との共同研究拡充

- 高炉メーカー、自動車メーカー

## 3. 業界トップレベルの競争力

### ・コスト競争力強化

- UPS完成度の向上（『世界一の源流、世界一の工場』）

### ・品質の向上

- 自動化の推進／AIの応用

## 4. サステナビリティの実現に向けた取り組み

### ・SDGs等グローバル課題への対応強化

- ESGの取り組み推進

### ・カーボンニュートラル時代への対応

- ライフサイクルアセスメントの実行



## 1. グローバルな生産基盤の活用・強化



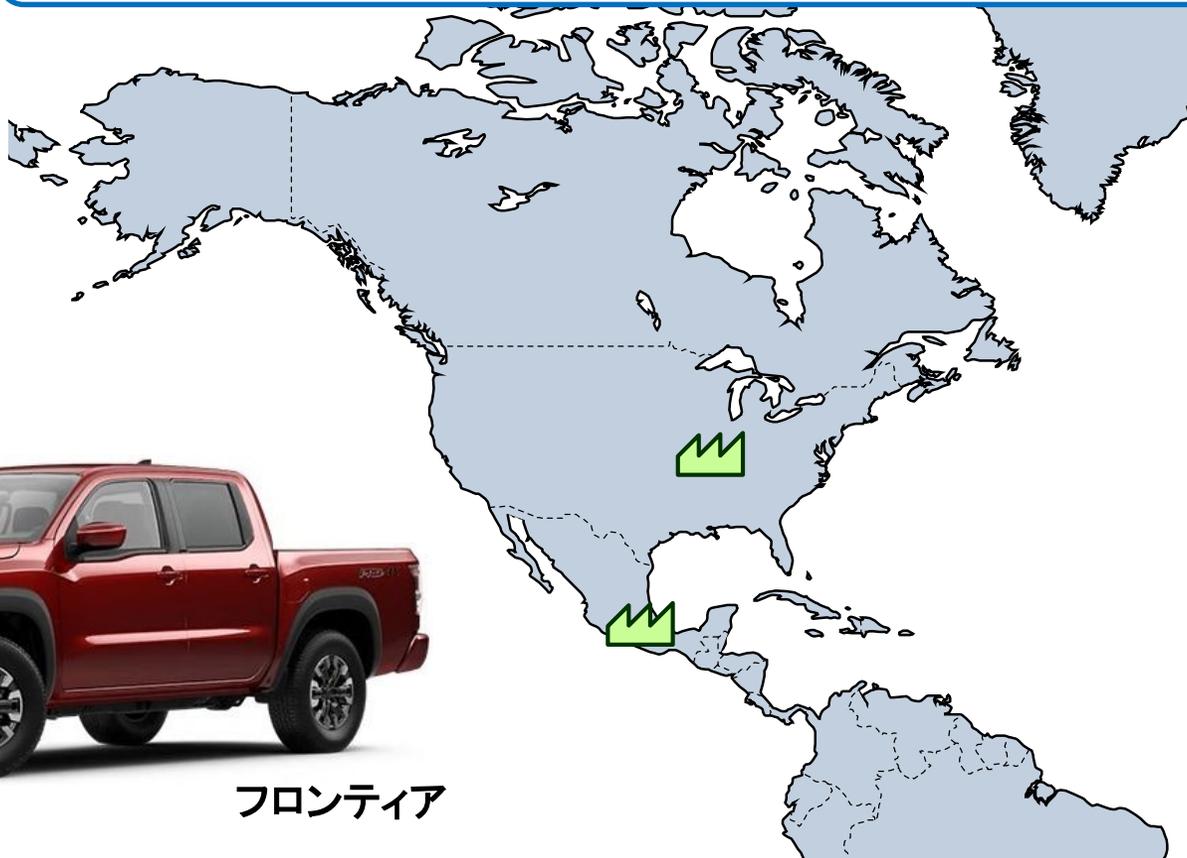
## (1) グローバル拡販

# 2020年度新車部品の立上げ実績と今後の見通し

	2020	2021	2022
日本	★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★
米州	★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★	★ ★
欧州	—	★ ★ ★	★ ★
アジア (中国・タイ・ インド・ インドネシア)	★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	★ ★ ★ ★ ★ ★
計	12	25	15

# 日産ピックアップトラック「フロンティア」受注状況

北米向けに販売されている日産自動車のピックアップトラック  
新型「フロンティア」向け部品を受注し、2021年7月より生産を開始



フロンティア



当該車種における  
Outstanding Quality Performance賞を  
Nissan North Americaより受賞

ピックアップトラックは、アメリカでの主力車種であり、  
今後も積極的な受注活動を推進していく

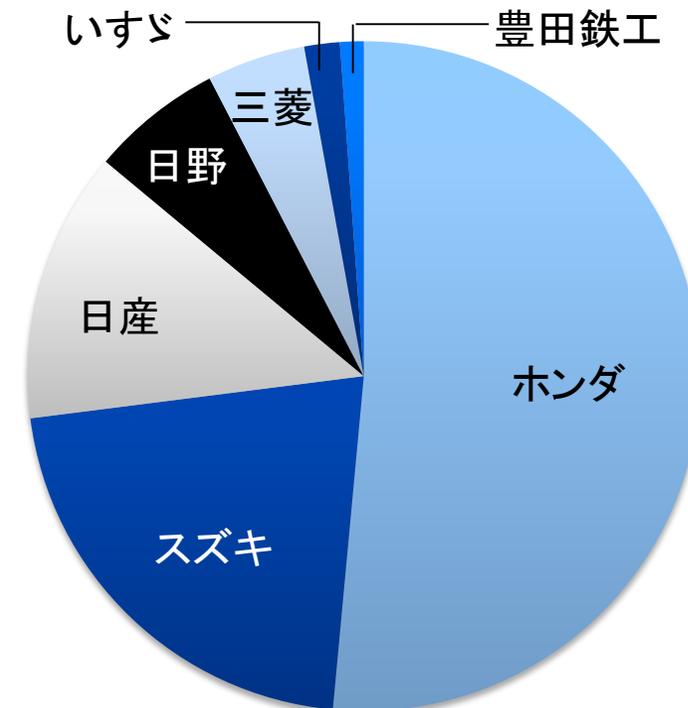
# ホンダ 小型SUV車「BR-V」受注状況

ホンダがインドネシアで生産する新型「BR-V」向け部品を受注。2021年8月に生産を開始

【ユニプレスインドネシアの得意先別売上(2020年度)】



新型BR-V



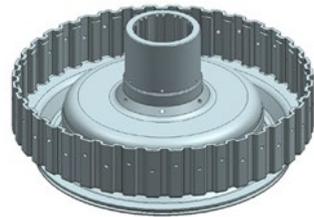
今後、ユニプレスインドネシアでは、  
ホンダ向け売上の割合拡大が見込まれる

トヨタ・アイシン等へのグローバル拡販の推進により、  
ダイハツ含むトヨタグループへの納入・売上が拡大

- トヨタ自動車の小型車向けCVT用トランスミッション部品をトヨタ・アイシンの両社より受注
- トランスミッション部品事業として、トヨタとの取引および直接納入は初（2021年3月より納入開始）

<受注部品>

- ・ピストンサブアッシー



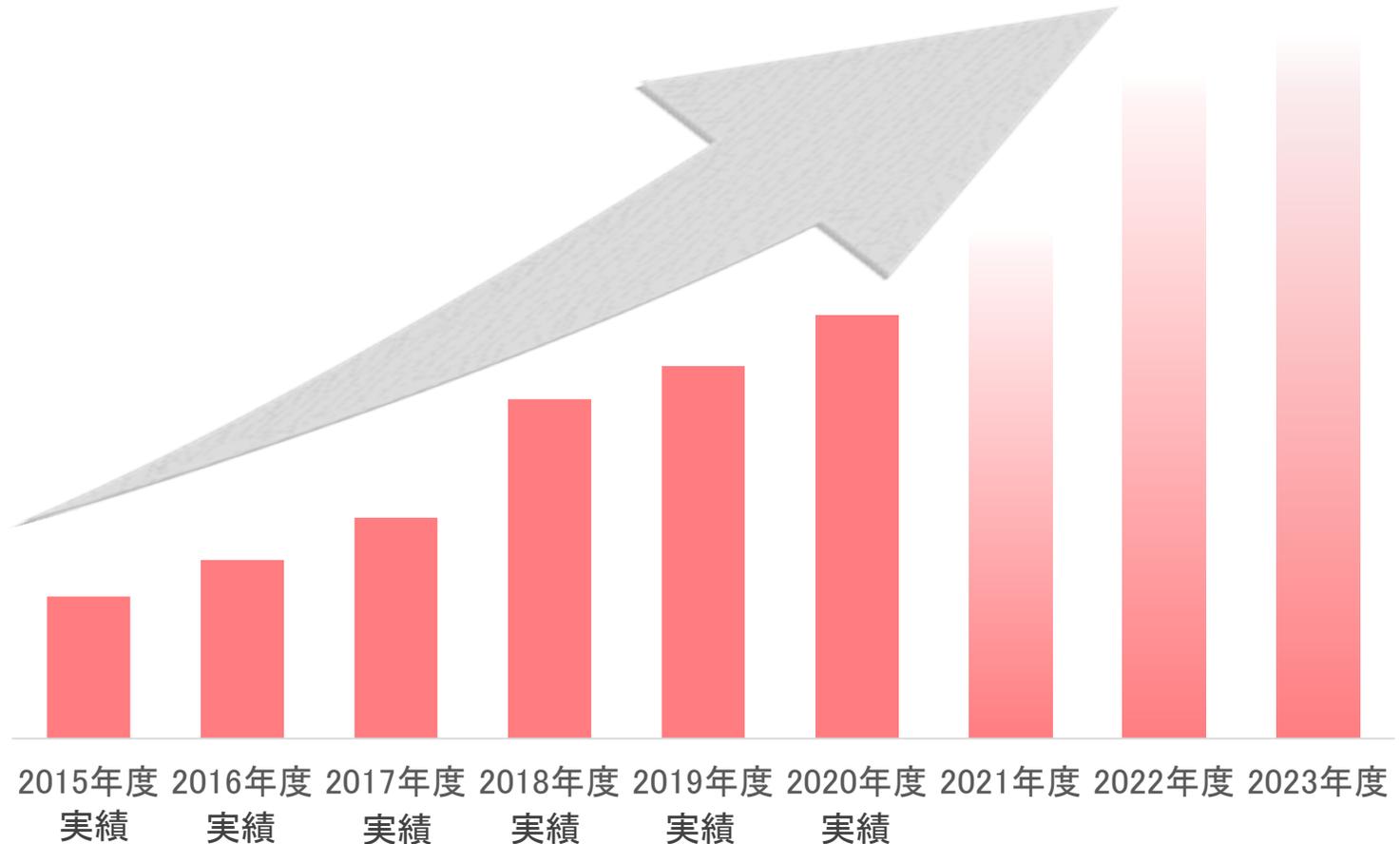
<搭載車種>

- ・パッツ
- ・ヤリス
- ・ルーミー



ヤリス

【トヨタ・ダイハツ車用部品売上計画】

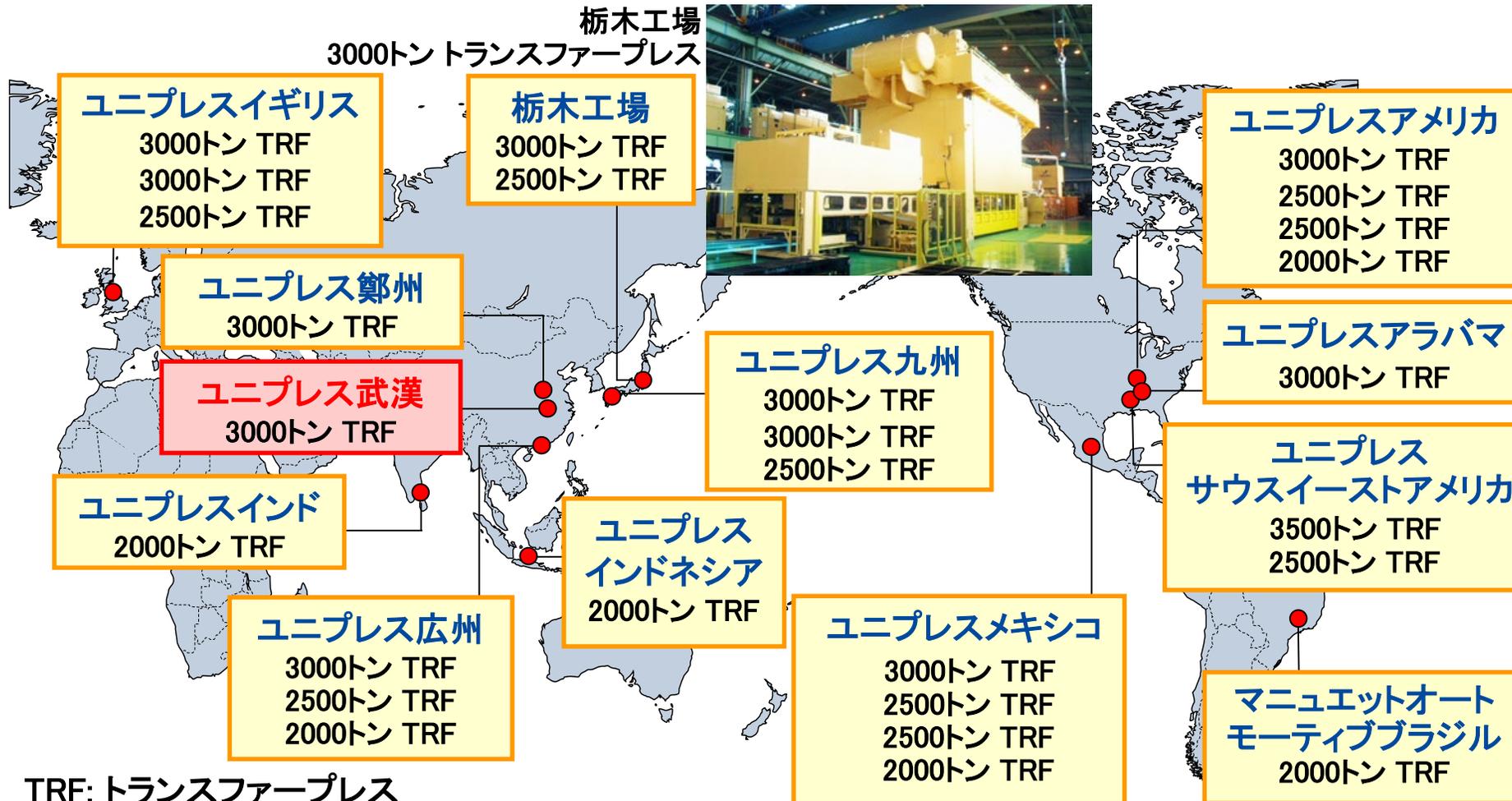




## (2) 生産基盤の更なる強化

# 大型トランスファープレスの導入状況

・ユニプレス武漢を加え、ハイテン部品を量産できる大型トランスファープレス(2000~3500トン)を全世界に27台導入済み





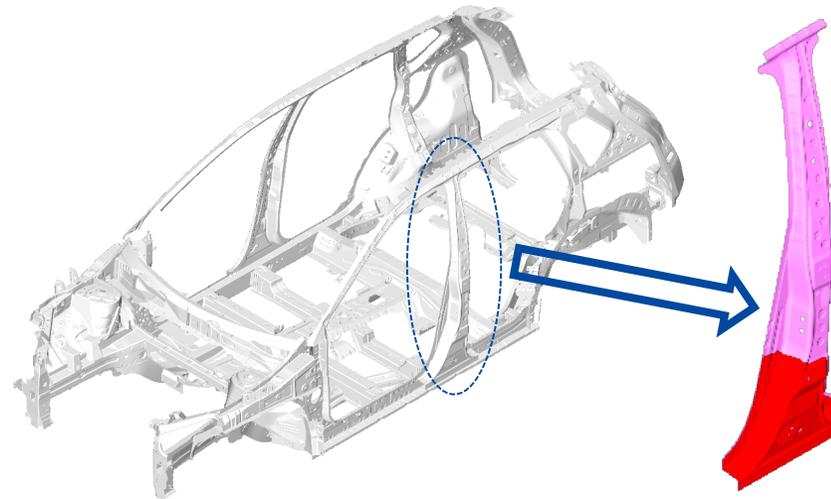
## 2. 技術開発の推進



## (1) 車体部品事業 技術開発の取り組み

## 超ハイテンTRIP鋼【1.2GPa+980MPa】テーラードブランク技術開発

<日産 新型「エクストレイル」向けに受注(中国工場)>



### BRACE-CTR PLR

- ...TRIP1.2GPa
- ...TRIP980MPa

#### 【TRIP鋼】

組織中に分散させた残留オーステナイトを、プレス成形中にマルテンサイト変態させる特徴をもつ高強度かつ高成形性な材料。

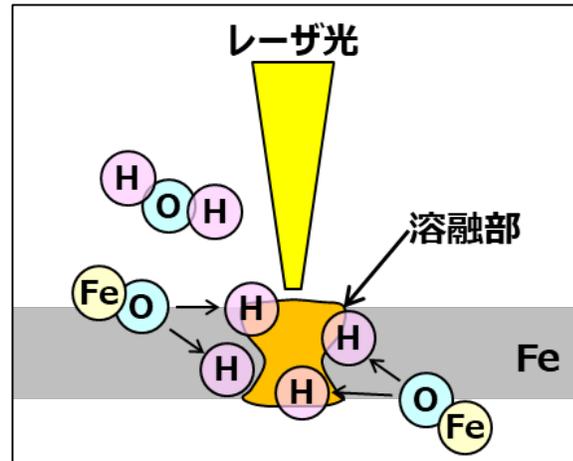
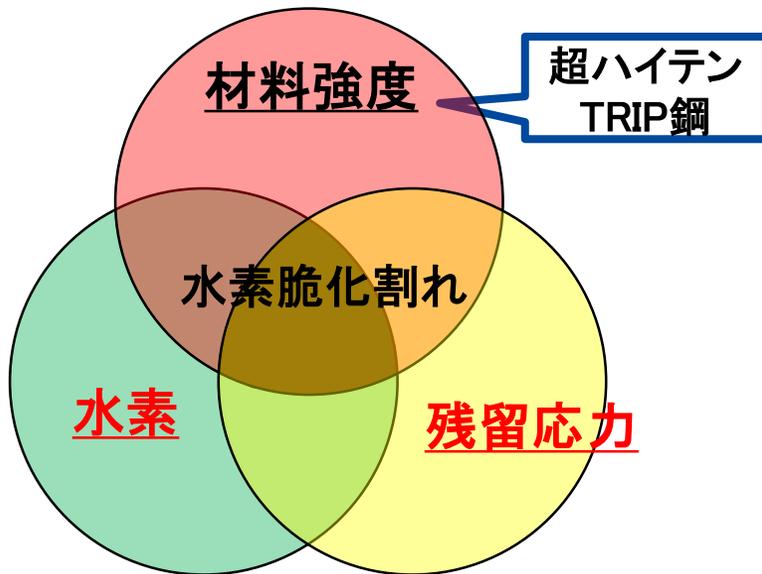
#### 【テーラードブランク (Tailored Welded Blanks)】

異なる強度や板厚の材料をレーザー溶接等で一枚のブランクシートにし、プレスを行う工法。  
軽量化や材料費削減のメリットがある。

# TRIP鋼 テーラードブランク対応技術開発

- ・成形後の溶接部に発生する水素脆化割れを抑制する技術を開発
- ・影響因子に対する、徹底した生産管理方法を構築し、量産化を実現

## テーラード溶接部 水素脆化割れ



レーザー溶接時  
水素が溶接部に侵入

プレス加工時割れ発生



### ■水素脆化抑制技術開発

- ・溶接部の水素量抑制技術【量産管理方法を構築】
- ・成形後のテーラード溶接部の残留応力抑制技術



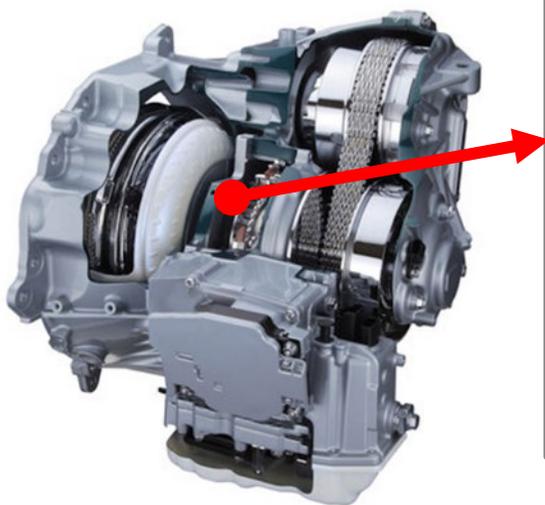


## (2) トランスミッション部品事業 技術開発の取り組み

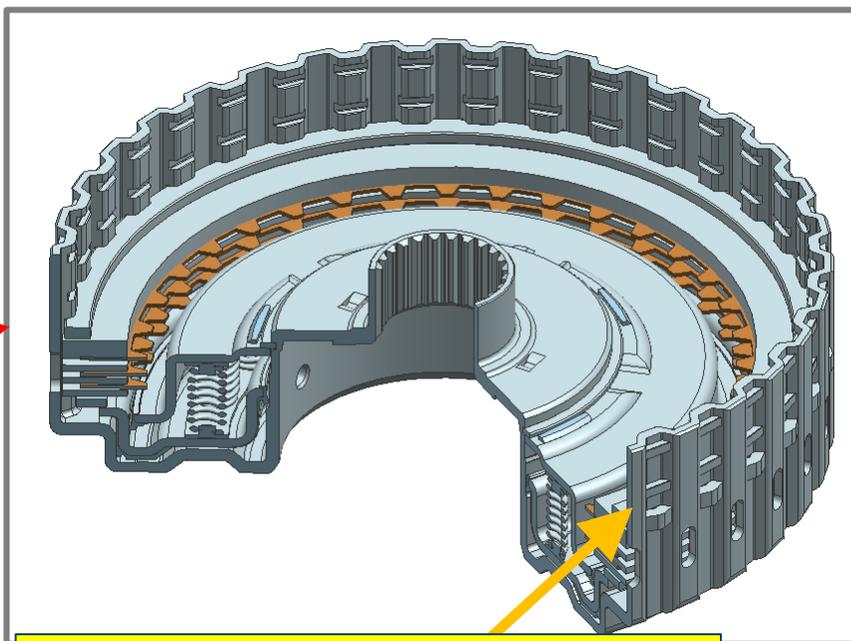
# CVT向け新クラッチパックの開発

- ・搭載サイズを維持しつつ、軽量化(▲18%)とコストダウン(▲13%)を実現
- ・Jatco CVT-Xの商品性価値向上に貢献(2020年末より供給を開始)

## 軽量化クラッチパックの開発



Jatco CVT-X



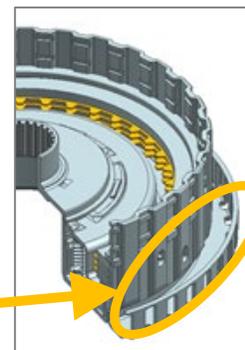
ドラム素材の薄板化・高精度化

ローターセンサーの廃止

- ◆成形解析を駆使
- ◆高精度歯形成形技術を開発



ドラムの薄板化・高精度化を実現



2020年度  
ジヤトコグローバル  
特別賞を受賞



### 3. 業界トップレベルの競争力



## 超ハイテン材や新材料に対応した ブランキングプレスを導入

### 〈設備の特徴〉

#### ①超ハイテン材対応機

- 最大1.5G Paの超ハイテン材加工

#### ②材料分離装置対応機

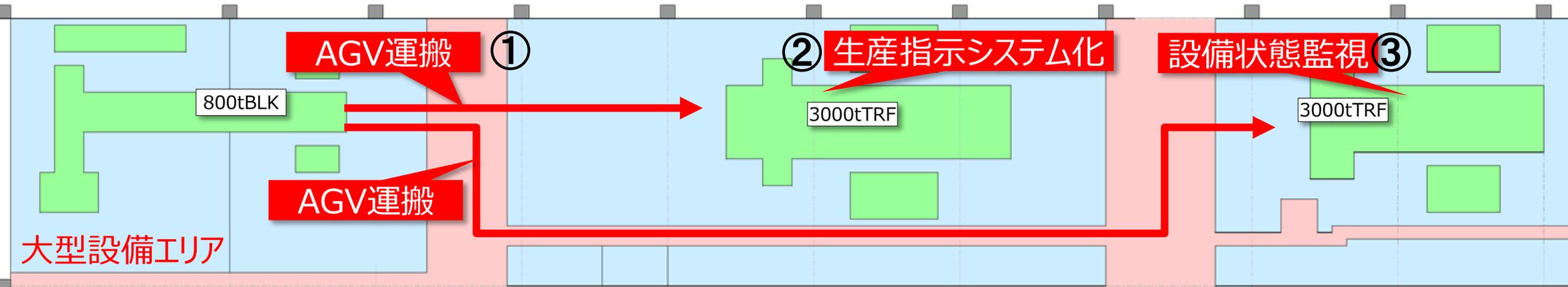
- ホットスタンプ材・アルミ材等のスクラップ分離処理
- スクラップ単価向上による合理化、環境影響の軽減



本設備の導入により、トヨタ自動車九州(株)から  
新規受注を獲得

- 1.2GPa ハイテン材ブランク製品 (5部品)

製品搬送、生産進捗、設備監視のスマート化を追求し、省人化を実現していく



①製品搬送：AGV運搬



準直員(人/日): 2名⇒0名(▲100%)

②生産進捗：生産指示システム化

部品番号	数量	作業	開始	終了	工程	工程	設備	SNP	備注	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
763124...	1...	1...	0...	0...	J...	K70	A21	200	4A														
763134...	1...	1...	0...	0...	J...	K70	A21	200	4A														
751122...	1...	0	231	0...	TWS	J70	A11	40	6A3														
611378...	1...	1...	0	0...	N...	S...	A11	150	5C1														
751136...	1...	0	0	1...	TWS	J70	A11	40	6S1														
663226...	700	500	0	1...	J...	J70	A21	100	6T2														
663236...	700	500	0	1...	J...	J70	A21	100	6T2														
571328...	1...	0	0	1...	シト	T14	7/30	70	6B3														
641826...	700	0	0	1...	N...	K70	A21	250	6U4														
641836...	700	0	0	1...	N...	K70	A21	250	6U4														
5253CA...	1...	0	0	1...	...	...	T01	450	5E7														
5253CA...	1...	0	0	1...	...	...	T01	450	5E7														
743724...	3...	0	0	1...	2...	...	A21	100	4P2														
1...	2...	...	...	...	...	...	...	...	...														
6228A5...	1...	0	0	2...	2...	...	A21	200	5S2														

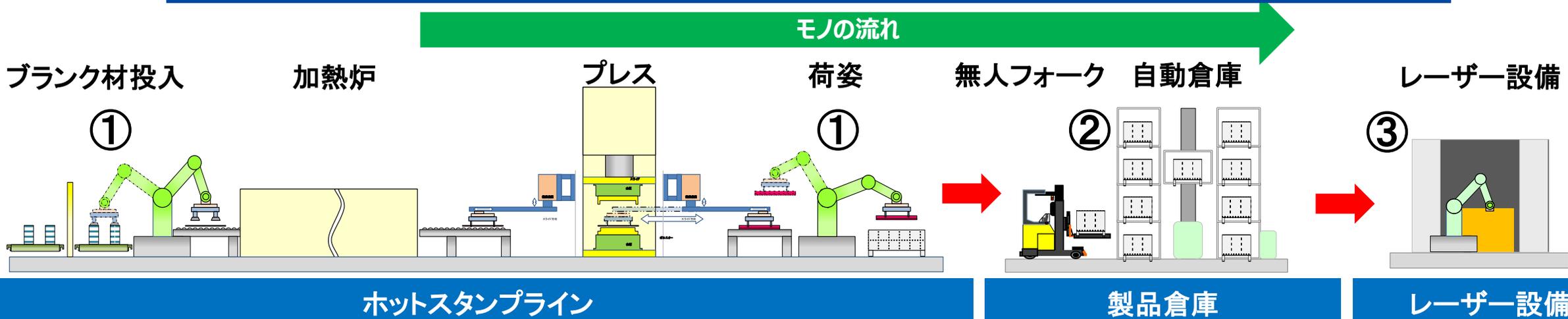
間接員(人/日): 2名⇒1名(▲50%)

③設備監視：設備状態監視カメラ



準直員(人/日): 4名⇒2名(▲50%)

## 省人化モデルを構築し、他拠点へ水平展開を実施中



①ホットスタンプ：ロボットによる材料投入・荷姿



生産人員(人/日): 6名⇒3名(▲50%)

②製品倉庫：無人フォーク・自動倉庫



物流人員(人/日): 2名⇒0名(▲100%)

③レーザー：ロボットによる自動セット・段取



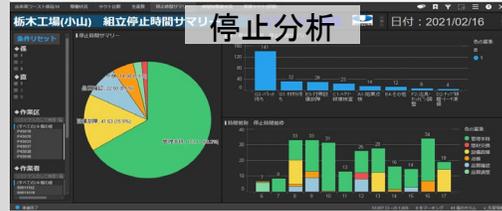
生産人員(人/日): 8名⇒4名(▲50%)

## 〈情報活用による生産稼働ロスのミニマム化〉

情報区分	情報活用内容	狙い
①生産管理情報	生産計画と実績評価による生産ロス要因の抽出と特定	ロス削減の仕組み構築
②設備監視情報	品質変化と設備故障の未然防止	設備停止ロス削減
③現場管理情報	設備停止からの最速復帰	現場手待ちロス削減

### ①【生産管理情報】

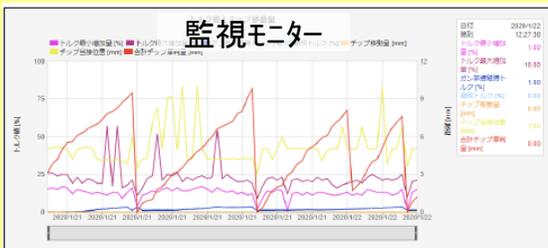
#### 〈生産計画VS実評価〉



### ②【設備監視情報】

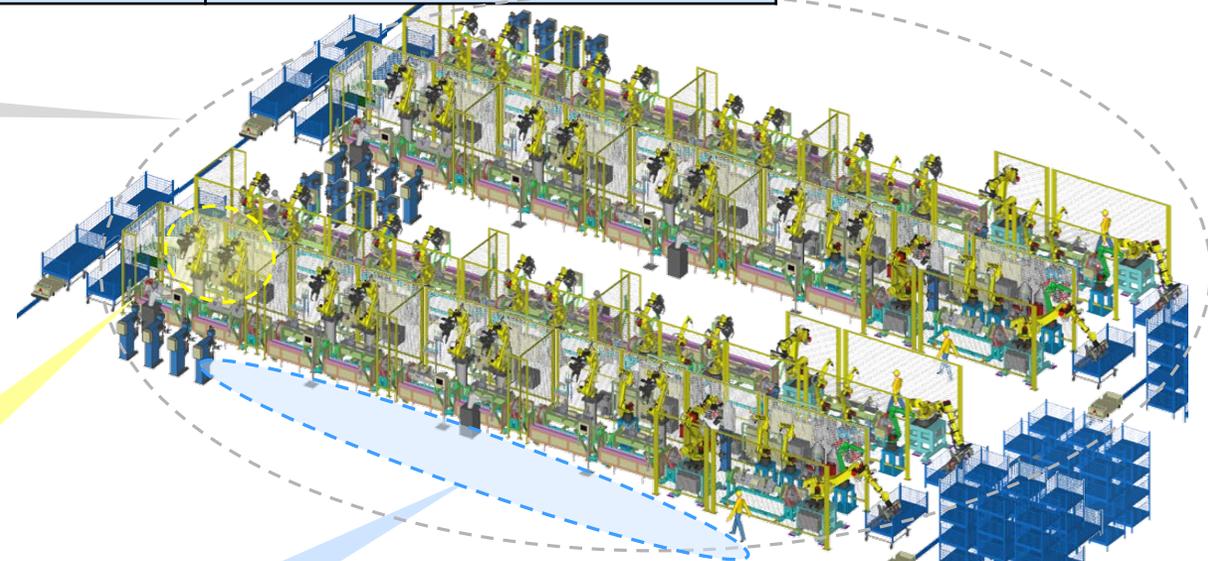
#### 〈設備常時監視〉

◇変化点捉えアラート通知



#### 〈稼働履歴管理〉

◇データに基づく不具合要因究明



### ③【現場管理情報】

#### 〈現場情報配信〉

◇設備停止対応状況のリアルタイム配信



保全対応中

#### 〈現場での情報活用〉

◇設備復旧手順を現場で活用





## 4.サステナビリティの実現に向けた取り組み

## カーボンニュートラルへの対応

### <自動車業界の脱炭素に向けた方策>

#### 電動車政策

- 更なる軽量化技術の適用開発
  - 超ハイテン材
  - ホットスタンプ
- 電動車特有の部品開発
  - バッテリーケース
  - 電動車用精密部品

#### CO2規制(LCA)

- 栃木工場(小山)をモデルケースとして、データ収集を開始
- 2022年4月 委員会(分科会)を立上げ予定

# 環境課題への取り組み

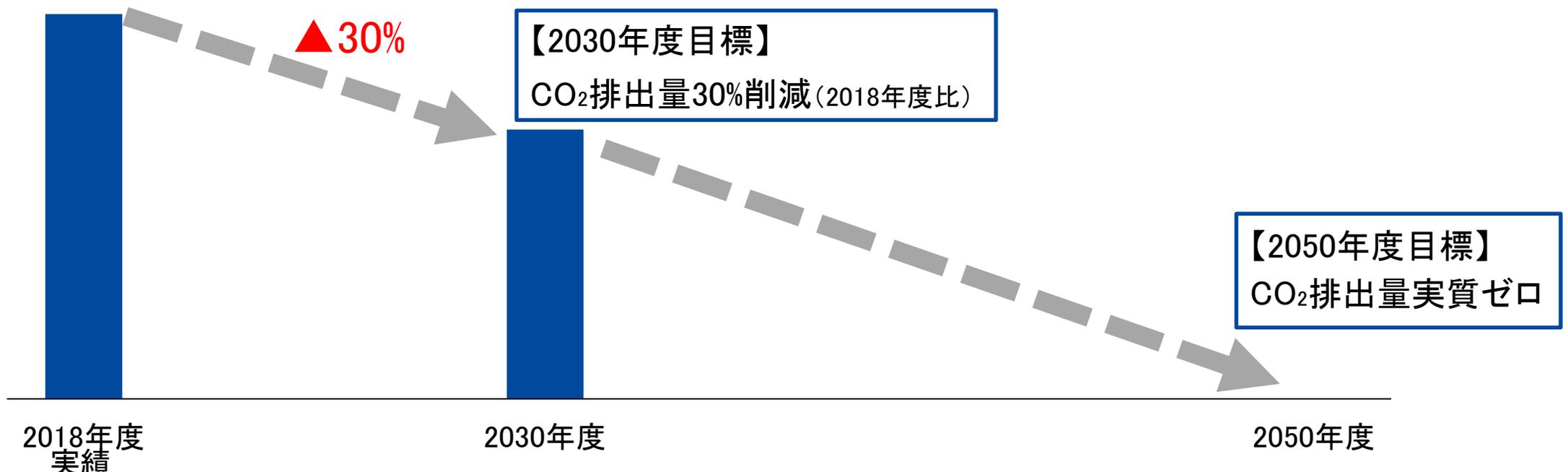
## 【CO2排出量削減目標】

2030年度 事業活動で排出するCO2排出量30%削減(2018年度比)

2050年度 事業活動で排出するCO2排出量 実質ゼロ  
(2050年度チャレンジ)

サプライヤーとともにCO2排出量 実質ゼロに取り組む

## ■事業活動で排出するCO2排出量削減イメージ



## 健康経営の推進

健康経営は、当社の企業価値向上につながる重要課題と位置づけ、2021年7月1日に社長名にてユニプレスグループ健康宣言を発信



2021  
健康経営優良法人  
Health and productivity

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に2021年初認定

### 【ユニプレスグループ健康宣言】

ユニプレスグループは、『モノづくりの心をひとつに』をスローガンに、社員一人ひとりとその家族が心身ともに健康であり、幸せであることを最優先と位置付けています。

社員とその家族が健康で幸せであることが、仲間を思う心を醸成し、相互に協力し合い、活力ある組織を生み出し、その結果として会社の価値向上、社会への貢献につながると思います。

すべての社員が健康で生き活きと働くことができるよう、安全で快適な職場環境づくりに努め、社員一人ひとりの健康増進・疾病予防をサポートします。

社員の皆さんも、自身とご家族のために、健康でチャレンジし続けられるよう、一丸となって健康づくりを進めて行きましょう。

### <推進体制>

社長をトップとし、人事担当役員・人事部が主管となり、総務部、各事業所安全衛生委員会、健康保険組合と連携し、従業員が心身ともに健康に働ける環境づくりを推進。

## ダイバーシティの推進(LGBTへの対応)

※SOGIとは…「Sexual Orientation & Gender Identity」の頭文字をとった言葉。「性的指向と性自認」と訳される。

多様な人材が活躍できる職場環境を目指し、  
LGBTを含むSOGI等への対応強化により、ダイバーシティの推進を加速

職場における性的マイノリティへの対応として、2021年10月1日以降、順次下記対応を実施。

### 【福利厚生制度について】

- ・従業員を対象とする社内規程において「同性婚」および「事実婚」のパートナーを配偶者と準じた対応とし、各種休暇の付与(結婚、出産、忌引)及び慶弔金の支給(結婚金、出産金、弔慰金)へ適用。

### 【理解に向けた取り組み】

- ・従業員に対する研修や情報発信を通してLGBTへの理解向上を図る。
- ・社内外相談窓口の設置等により社内の当事者が働きやすい職場環境を整備。

## 腐敗防止への取り組み強化

「税務方針」「腐敗防止に関する基本方針」を新たに策定



# UNIPRES

## 「IR情報メール配信サービス」のご案内

ユニプレスの最新情報をメールでお知らせします。ぜひご登録下さい。

スマートフォンから

二次元コードを  
読み取って  
登録



パソコンから

ユニプレス  
WEBサイト  
トップページの  
バナーをクリック



一覧を見る > ピックアップ

- > 株主優待
- > 株価情報
- > IR情報メール配信
- > お問い合わせ

(円)

	2020年度 上期		2021年度 上期		2021年度 見通し前提	
	期中平均	期末	期中平均	期末	当初	通期
米ドル	106.33	105.81	110.13	111.95	108.00	110.01
英ポンド	135.92	132.48	150.79	153.22	150.00	151.09
ユーロ	119.40	121.05	130.47	131.63	130.00	130.15
ペソ	4.99	4.66	5.36	5.58	5.20	5.41
人民元	15.32	15.23	16.77	17.12	16.50	16.90
ルピー	1.43	1.44	1.50	1.52	1.50	1.50
バーツ	3.41	3.49	3.50	3.45	3.50	3.43
ルピア	0.0074	0.0076	0.0076	0.0076	0.0075	0.0076

# 資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 主要市場(日本、米州、欧州、アジア等)の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- ・ 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- ・ 為替相場の大幅な変動
- ・ 金融・資本市場における金利等の変動 など